ハードディスクムービー

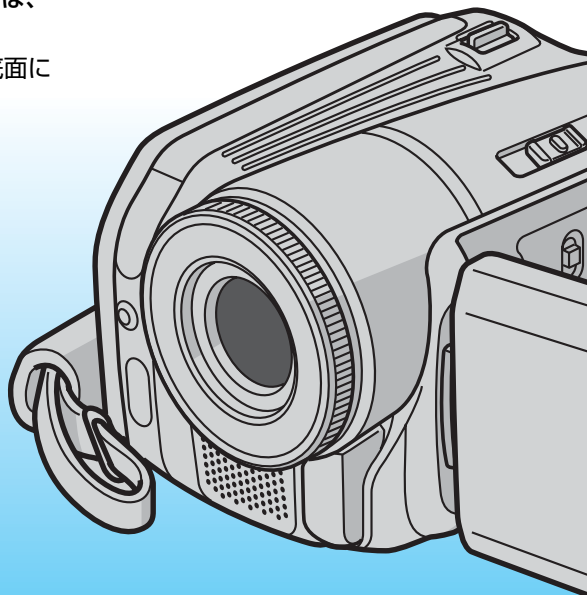
型名　GZ-MG70

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
特に「ハードディスクムービー取り扱い上のご注意」(P.2)、
「安全上のご注意」(P.90) および
「使用上のご注意」(P.6) は、
必ずお読みください。

[本機の製造年は、本体底面に
表示されています。]

For English Users

To change the Menu indications etc. to English, see page P.69.

(本体画面の表示などを英語に変えるには、P.69 をご覧ください。)

LYT1492-001B

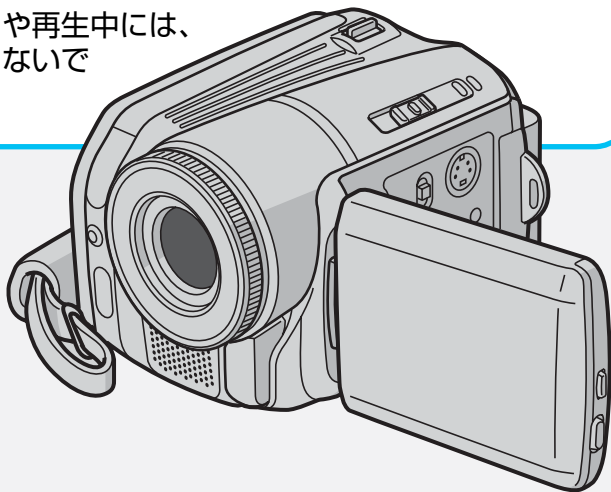
はじめに
準備する
すぐ使う
もっと撮る
編集する
設定する
困ったときは
その他

ハードディスクムービー取り扱い上のご注意

撮影したデータをバックアップしてください

- 大事な記録データを保護するために、記録したファイルはパソコンへコピー（バックアップ）してください。さらに、パソコンから DVD などにコピーして保存することをお勧めします。
- 撮影後は定期的にコピーすることをお勧めします。
- パソコンをお持ちでない方は、DVD レコーダーやビデオレコーダーなどにダビングしてください。

ハードディスクムービーは精密機器です 振動や衝撃を与えないでください

- ハードディスク（内蔵）が認識されなくなったり、記録や再生ができなくなります。
- 特に撮影中や再生中には、衝撃を与えないでください。

温度に関するご注意

●正しく記録および再生するために、カメラの内部温度が上がったときや温度が低すぎるときに、保護回路が働き、記録や再生ができないことがあります。(P.34、36、88)

●長時間使用していると、カメラが熱くなることがありますが、故障ではありません。

カメラやメモリーカードを廃棄／譲渡するときのご注意

●カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、ハードディスクやメモリーカードのデータは完全には消去されません。市販のデータ復元(修復)ソフトなどを使用すると、データを復元できる場合があります。そのため、廃棄／譲渡したあとで、重要なデータが流出してトラブルになる可能性があります。

●トラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ(ハードディスク)やメモリーカードを金槌によって物理的に破壊することをお勧めします。この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

●市販のデータ消去ソフトを使わずに、データの復元を困難にするには、P.29をご覧ください。

もくじ

はじめに

準備する

すぐ使う

もっと撮る

編集と印刷

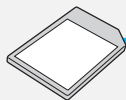
設定する

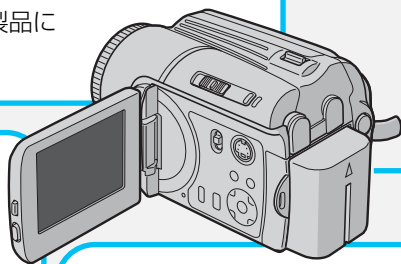
困ったときは

その他

使用上のご注意

このカメラについて

- SD-VIDEO 規格に準拠した MPEG2 方式で動画を記録・再生します。DV 方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。
- 電源 (バッテリーや AC アダプター) をはずすときは、必ず電源を切ってください。
  動作中にはずすと、メディアの損傷や誤動作の原因になります。
- 使わないときは、電源を切ってください。
  入れたままだと表面が温かくなります。
- 長期間使わない場合は、メディアを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。
  ときどき電源を入れて、動作を点検してください。
- 次のような場所に、置かないでください。
  - ・高温になる場所 (晴天時の閉め切った車内など)
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所

液晶画面について

- 表面を強く押したり強い衝撃を与えたりしないでください。
  傷がついたり、割れる場合があります。
- 小さく光る点 (赤・青・緑) や黒い点は故障ではありません。
  メディアには保存されません。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

メディア（ハードディスクとカード）について

● カメラに内蔵されたハードディスクと、別売の SD メモリーカード（カード）に記録できます。

● 不具合により正常に動作しないことがあります。
内容の補償はご容赦ください。

● 記録したファイルはパソコンへコピーしてください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。パソコンから DVD などにコピーして保存することをお勧めします。

● データの破損やメディアの故障を防ぐため、「記録用のメディア」(P.10)のご注意をお読みください。

バッテリー（充電式電池）について

● 小型で高容量のリチウムイオンバッテリーです。

● 低温（10 ℃以下）では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意してください。

● 長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に 1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
1)エコノミーモードで動画を撮影する。
2)電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。

● 使わないときは、バッテリー残量が減るのを防ぐため、必ず取りはずしてください。

● 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところで保管してください。

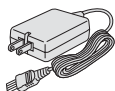
● バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
・お問い合わせ：小形二次電池再資源化推進センター
http://www.jbrc.com/
※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

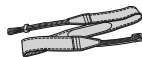
Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

はじめにお確かめください

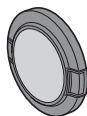
付属品

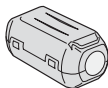
万が一、不足品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問いあわせください。

ACアダプター
AP-V14
(LY21103-003C)

バッテリーパック
BN-VF707

ショルダー
ストラップ

ワイヤレスリモコン
RM-V730

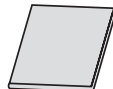
専用映像/音声コード

専用USBケーブル
Aタイプ
－ミニBタイプ

レンズキャップ

CD-ROM

大(1個)

小(1個)

フェライトコア

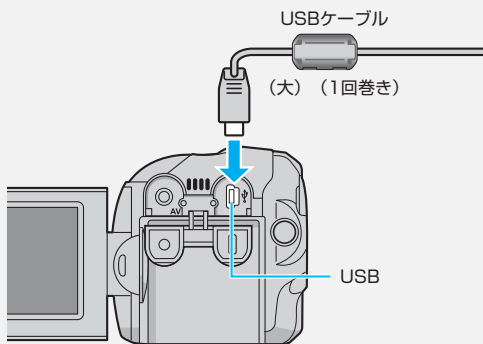
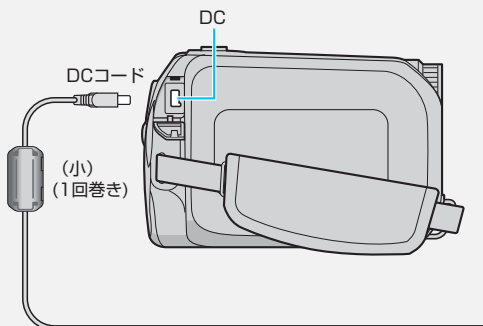
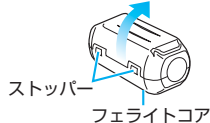
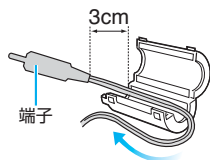
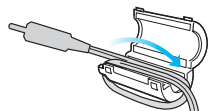
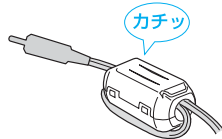
取扱説明書
(本書)

取扱説明書
-インストール編-

別売アクセサリー

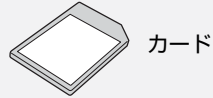
詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF707
バッテリーパック	BN-VF714
バッテリーパック	BN-VF733
バッテリーチャージャー	AA-VF7
バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
DC コード	VC-VBN800

接続時のノイズをおさえるために

コードやケーブルをお使いの場合は、フェライトコアを必ず取り付けてください。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

1. 両側のストッパーをはずし、開く

2. 端子から約3cmの位置に取り付ける

3. 1 回巻き付ける

4. コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

記録用のメディア

カメラに内蔵されたハードディスクと別売の SD メモリーカード (カード) に記録できます。
本書では、ハードディスクとカードをあわせて、メディアと呼びます。

メディア ── ハードディスク(カメラに内蔵)
└ SDメモリーカード(カード)

■データとメディアを守るには (使用上のご注意)

大事な記録データを保護するため、記録したファイルはパソコンへバックアップする。
(その後、パソコンから DVD などにコピーして保存することをお勧めします。)
さらに、記録したデータの破損やメディアの故障を防ぐため、次のことを守る。

・ パソコンでフォーマットしない。
・ 水に濡らさない。
・ 強い静電気や電気的ノイズの発生しやすいところでは、使用、交換、保管しない。
・ 強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近付けない。
・ 撮影中や再生中などメディアにアクセスしているあいだは、カメラの電源を切ったり、バッテリーや AC アダプターを取りはずさない。
・ 高温多湿になる場所で保管しない。
・ 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えない。
・ カードの金属部分にさわらない。

■メディアの性能を維持するには

定期的に、メニューで「クリーンアップ」を実行する (P.74)。

■メディアに不具合が生じたときは

①メニューで「クリーンアップ」を実行します (P.74)。
②クリーンアップしても不具合が解消できないときは、メニューで「フォーマット」を実行します (P.73)。ただし、メディアのなかのデータはすべて失われます。あらかじめパソコンにバックアップしてください (P.58)。
③フォーマットしても不具合が解消できないときは、フォーマットしてからすぐに、パソコンでチェックディスクを実行します。
④ハードディスクの異常を解消できない場合は、お近くの「ビクターサービス」に修理をご依頼ください (P.94)。カードの場合は、カードを交換してください。メディアのなかのデータはすべて失われます。

お知らせ
- MultimediaCard(マルチメディアカード) には対応していません。
- 動作確認済みのカードについて (P.27)。
- メディアのなかにデータがあるときは、パソコンでチェックディスクを実行しないでください。

各部のなまえ

前面

左側面

モード切替スイッチ
(P.33)
🎥：動画
📷：静止画

フラッシュボタン
(P.39)

スピーカー

リセット穴
(P.82)

削除ボタン

メニューボタン
(P.70)

左ボタン
(早戻し)

下ボタン
(M 設定 (P.46)
／次ファイルへ)

S 端子
(P.41 、56)

インフォボタン
(P.17 、23、37、
40、71)

上ボタン
(逆光補正 (P.44 、45)
／ファイル先頭へ)

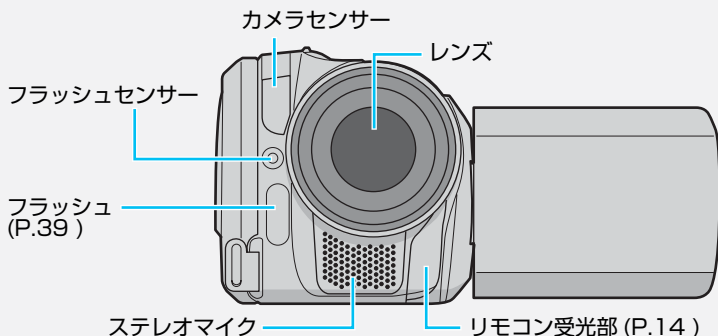
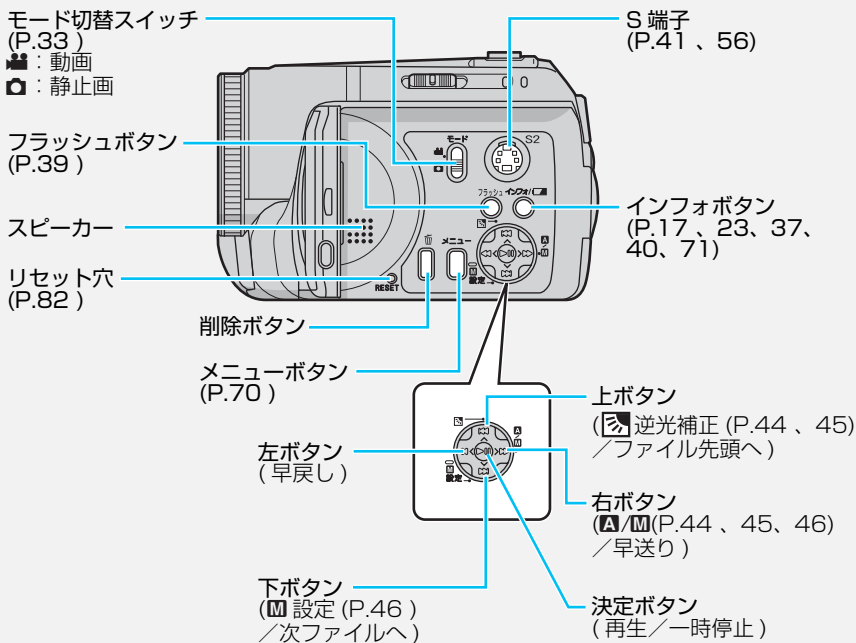
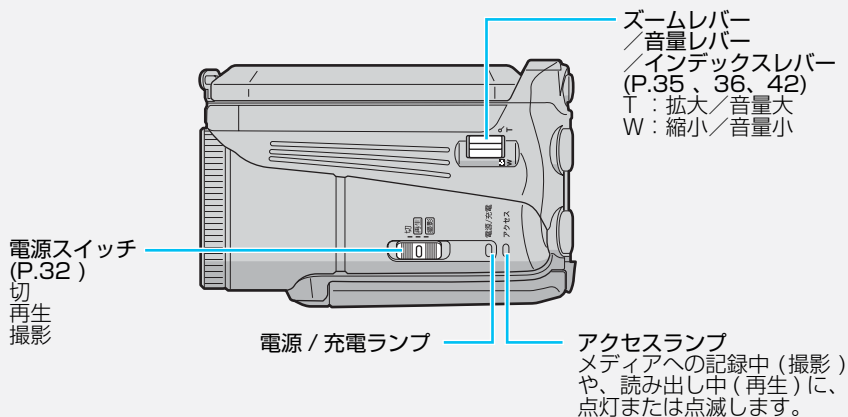
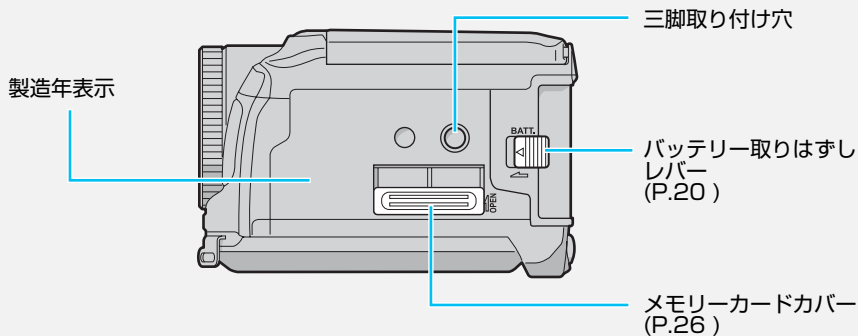
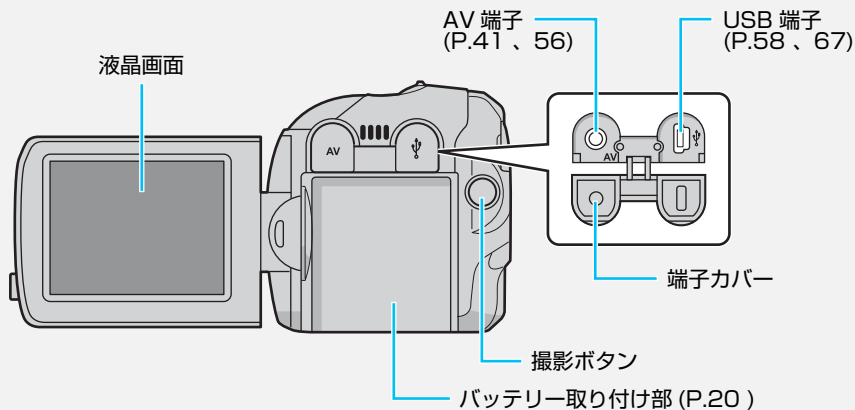
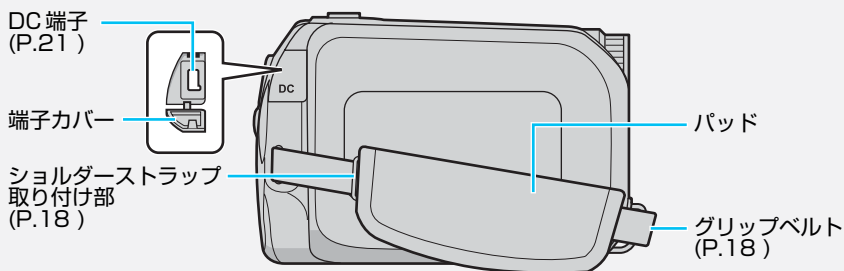
右ボタン
(A/M(P.44 、45、46)
／早送り)

決定ボタン
(再生／一時停止)

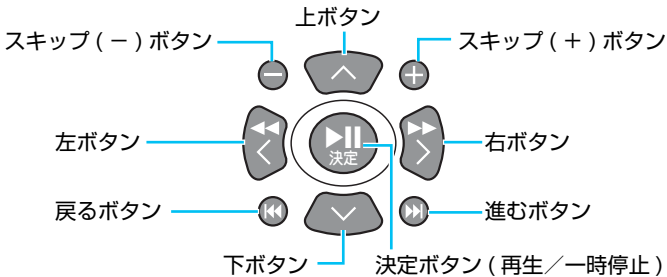
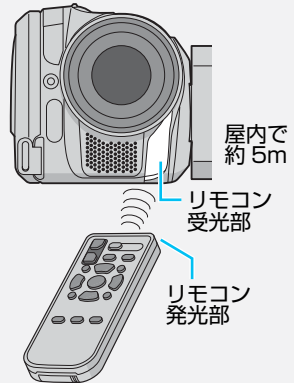
上面

ズームレバー
／音量レバー
／インデックスレバー
(P.35 、36、42)
T ：拡大／音量大
W：縮小／音量小
電源スイッチ
(P.32)
切
再生
撮影
電源 / 充電ランプ
アクセスランプ
メディアへの記録中（撮影）
や、読み出し中 (再生) に、
点灯または点滅します。

底面

三脚取り付け穴
製造年表示
BATT.
バッテリー取りはずし
レバー
(P.20)
OPEN
メモリーカードカバー
(P.26)

背面

右側面

お知らせ

- 撮影するときは、レンズ、ステレオマイク、カメラセンサー、フラッシュセンサー、フラッシュ付近を指などでふさがないでください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

リモコン

■撮影日付のスキップ再生
「スキップ(＋)」または「スキップ(ー)」を押す。

■ファイルのスキップ再生
動画では、「進む」または「戻る」を押す。
静止画では、「右」または「左」を押す。

■インデックスの切り替え
インデックスボタンを押して、インデックスと日付インデックスを交互に切り替える(P.42)。
動画では、さらにMPGファイル(P.61)のインデックスに切り替えられる。

■その他の再生操作
動画(P.36)、静止画(P.40)、プレイリスト(P.54)

お知らせ ●受光部の正面から操作することをお勧めします。角度によっては操作できない場合があります。また、受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、誤作動したり、動作しないことがあります。

画面の見かた

動画と静止画の撮影に共通の表示

明るさ補正
逆光補正（P.44）
スポット補正（P.45）
数字　明るさ補正（P.47）

撮影モード
A オート（P.33）
M マニュアル（P.44、45、46）

テレマクロ（P.77、78）

ズーム倍率（P.35、77）

ズーム（P.35）

明るさ固定（P.45、47）

ホワイトバランス（P.47）

シャッター速度
ナイトアイ（P.48）

エフェクト（P.48）

画面明るさ（P.74）

プログラム AE（P.48）

バッテリー残量
多い
少ない

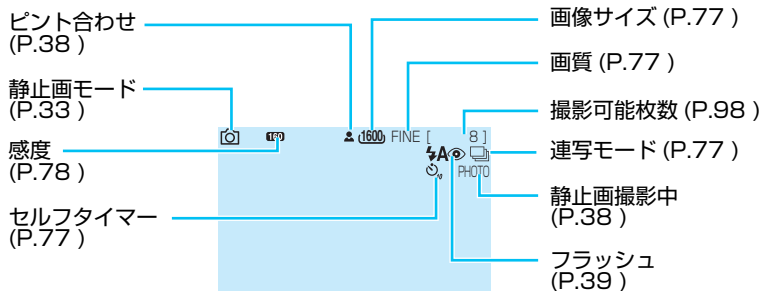
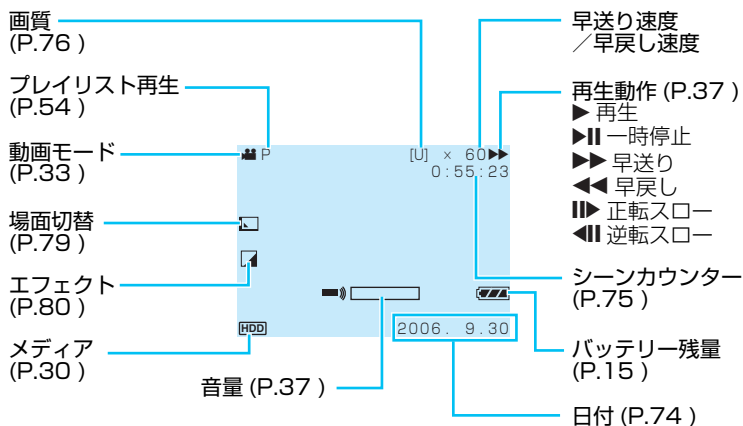
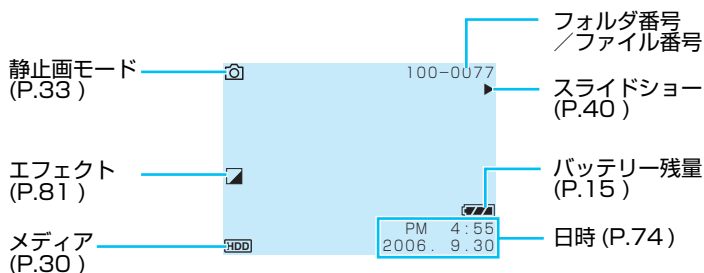
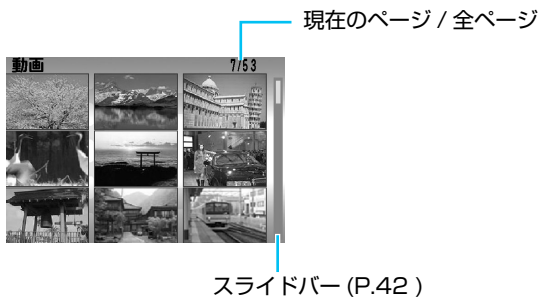
日時（P.24、74）

メディア（P.30）
HDD：ハードディスク
SD：カード

マニュアルフォーカス（P.47）

±0 L　200×　W　T
1/250
PM 4:55
2006. 9.30
HDD

動画撮影時の表示

静止画撮影時の表示

動画再生時の表示

静止画再生時の表示

再生時のインデックス表示／ファイル情報表示

■情報を見るには
インフォボタン (インフォ/) を押す。
元の画面に戻るには、インフォボタンを何度か押す。

ファイル	：	PIC_0001.JPG
フォルダ	：	100JVCSO
作成日時	：	06. 1. 1 PM 5:26
サイズ	：	640×480
画質	：	ファイン
プロテクト	：	OFF

(静止画の場合)

付属品を準備する

ショルダーストラップを取り付ける

1 パッドをはがす

2 ショルダーストラップの先を、取り付け部に通す

3 リングに通す

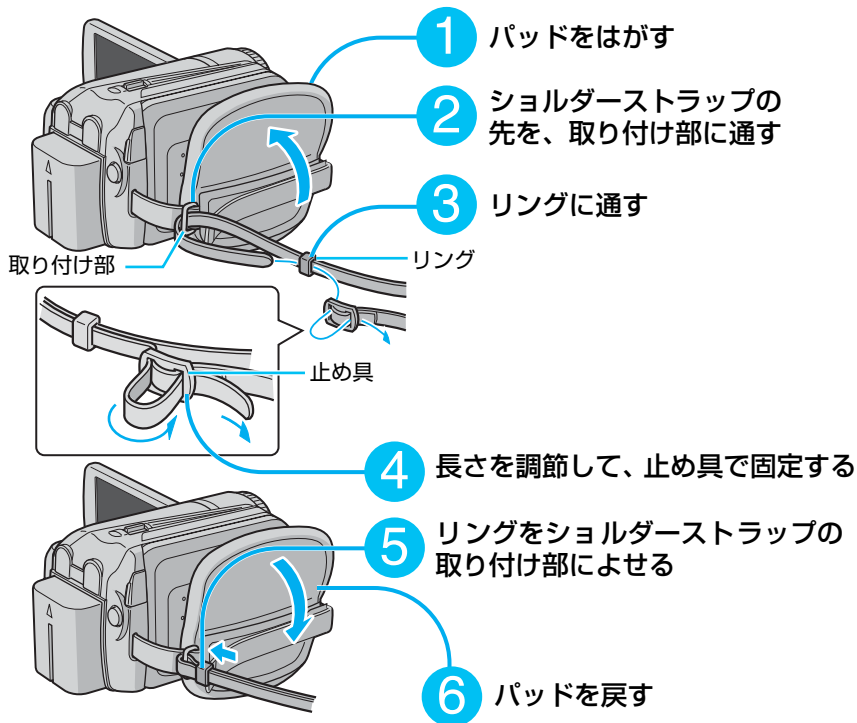
取り付け部

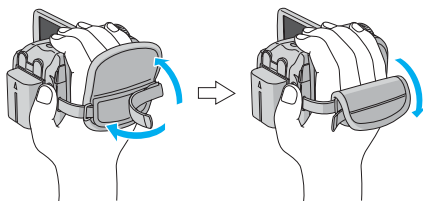
リング

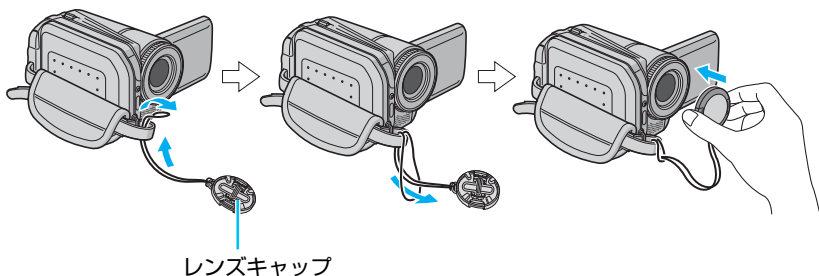
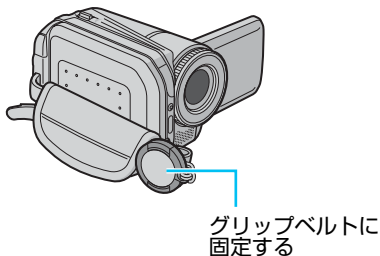
止め具

4 長さを調節して、止め具で固定する

5 リングをショルダーストラップの取り付け部によせる

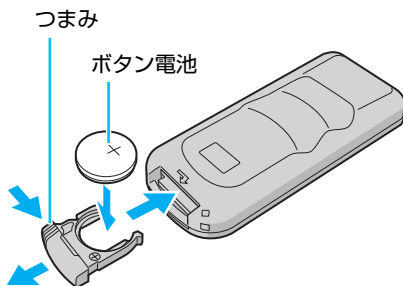
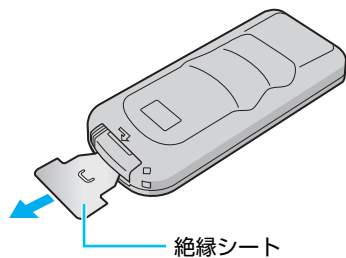
6 パッドを戻す

グリップベルトを調節する

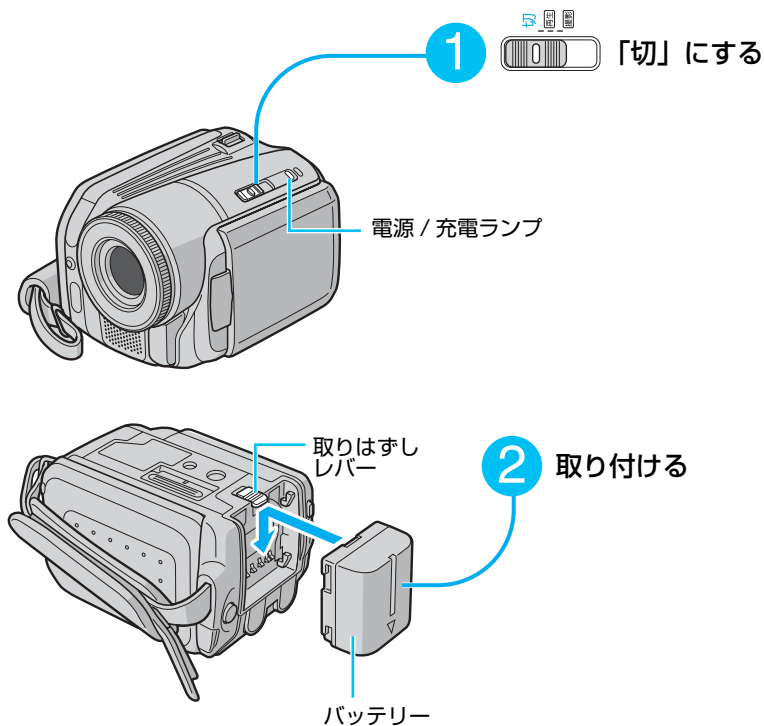
軽くにぎって安定するように調節しておくと、長時間でも楽に撮影できます。

レンズキャップを取り付ける

撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

■撮影するときは

リモコンを準備する

リモコンから絶縁シートを引き出す。

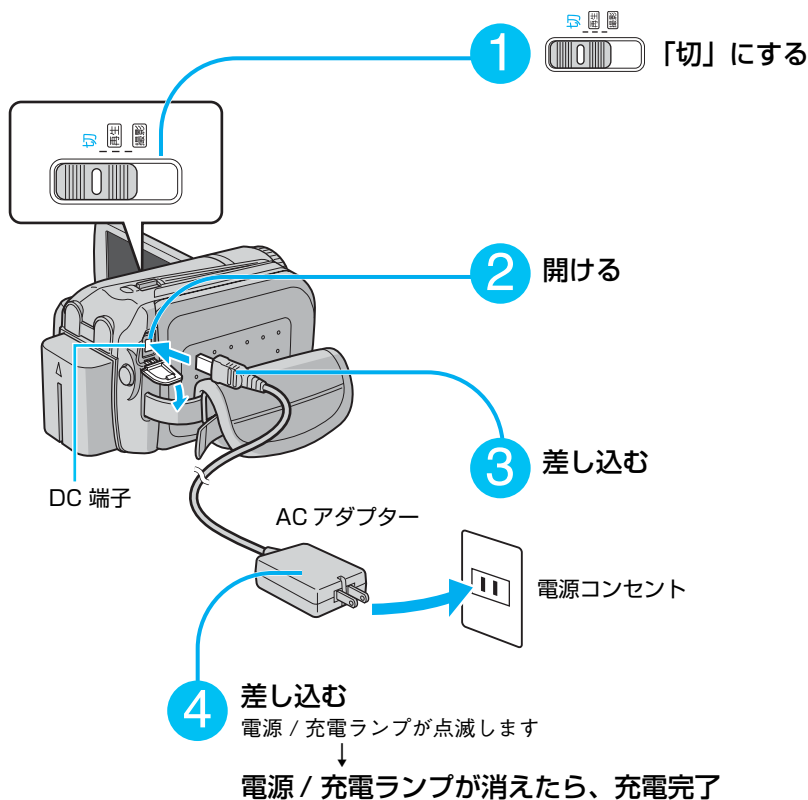
■電池を入れ替えるときは
つまみを押したまま引き出し、新しいボタン電池に入れ替える。

電源を準備する

バッテリーを取り付ける

最初にバッテリーを取り付けてください。

■バッテリーを取りはずすには
手順 1 のあと、底面の取りはずしレバーを押したまま、逆の動作で取りはずす。

ACアダプターで充電する

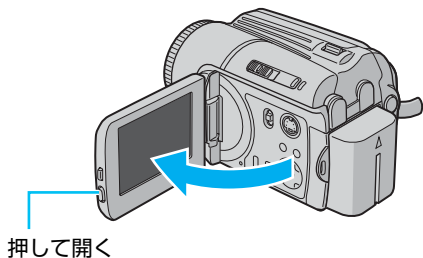
ACアダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

4 差し込む
電源 / 充電ランプが点滅します
↓
電源 / 充電ランプが消えたら、充電完了

■充電にかかる時間は
「充電時間の目安」(P.99)

■充電が終わったら
AC アダプターを本機と電源コンセントから抜く。

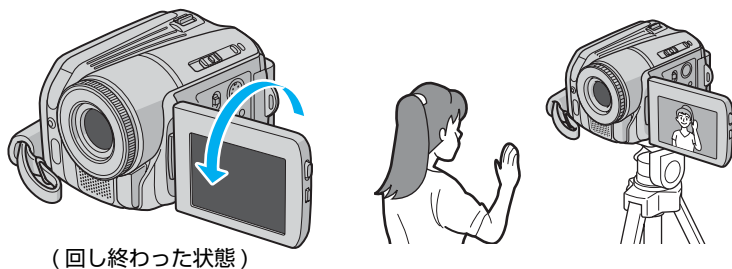
■自宅で使うときなどは
AC アダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

準備する 3

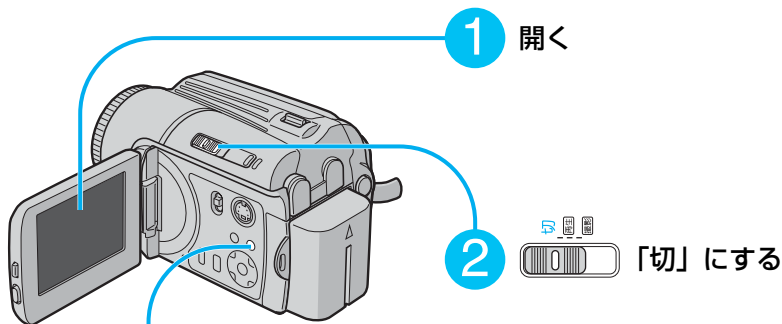
画面を準備する

■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.74)

自分を撮る

画面を見ながら自分自身を撮影するには、画面を開いたあと、図の方向へ 180 度回します。

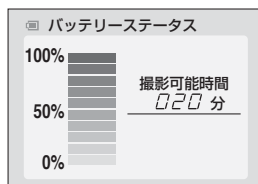
(回し終わった状態)

■元に戻すには
図と逆の方向へ回す。

■カメラから離れて操作するには
リモコンを使う (P.14)。

ご注意 ●力を加えて無理に回すと、本機が故障するおそれがあります。

バッテリー残量を調べる

3 インフォ/

バッテリーステータスを表示する

・約3秒間表示します。
・ボタンを約2秒間押し続けると、約15秒間表示します。

■撮影時にバッテリー残量を調べるには

撮影中の場合は撮影を停止してから、インフォボタン(インフォ/)を2回押す。

■通信エラーと表示されたときは

・インフォボタン(インフォ/)を何度か押してみる。
・電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずし、再び取り付け、インフォボタンを押してみる。

それでも通信エラーと表示されるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

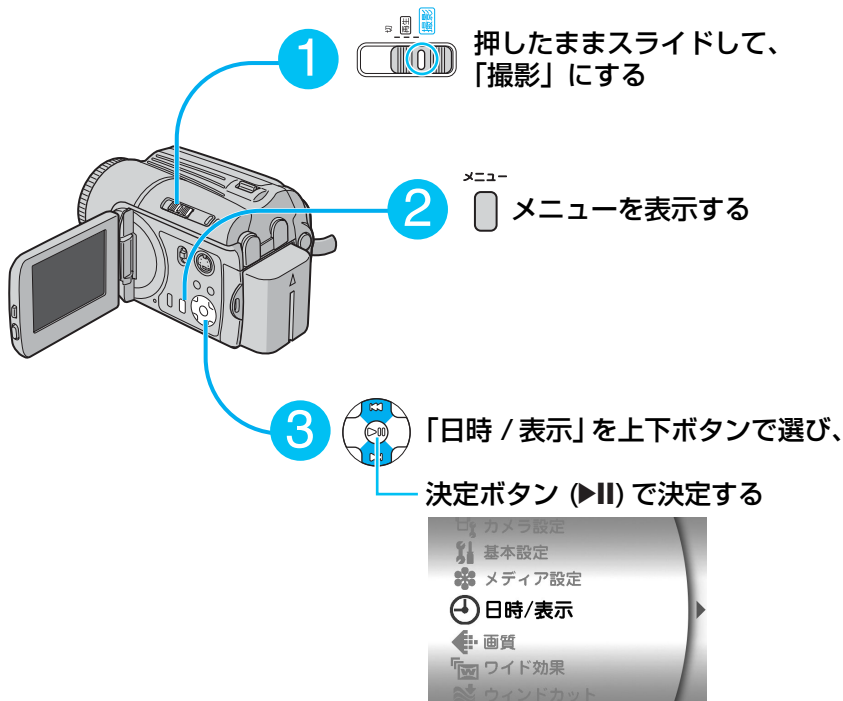
■より正しいバッテリー残量を得るには

バッテリー残量を正しく表示していないと思ったときは、バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。

ただし、高温/低温で長時間使ったバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、この操作を行ってもバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

お知らせ ●撮影可能時間は目安です。10分単位の表示になります。

準備する 5 時計をあわせる

お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際にも設定することをお勧めします。

4 「年月日時計合わせ」を上下ボタンで選び、

決定 (▶II) する

5 西暦が選ばれているので、上下ボタンで正しく設定し、

決定 (▶II) する

6 月日と時計の順に同様に設定し、

決定 (▶II) する

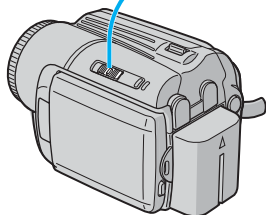
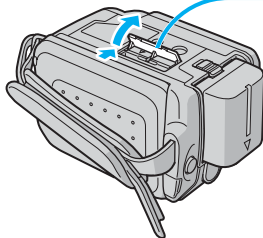
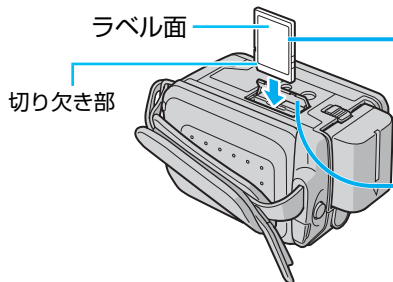
7

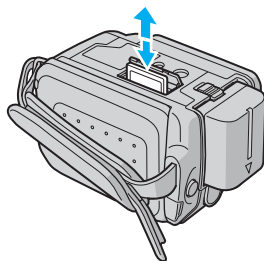
メニューを消す

時計用電池について

約３ヵ月間使わずに保管していると時計用電池が放電され、時計の設定が消えてしまうことがあります。このような場合、ACアダプターなどの電源を24時間以上取り付けておくと、電源の入／切に関係なく時計用電池が充電されます。時計をあわせてお使いください。なお、時計をあわせなくても撮影できます。

準備する 6 カードを入れる

カメラにはハードディスクが内蔵されているので、カードを入れなくても撮影できます。
動画と静止画を別々のメディアに記録したい場合 (P.30) や、ハードディスクの静止画をカードにコピーしたいとき (P.74) などに、市販のカード (P.10) を入れてください。

■カードを取り出すには
手順 2 のあと、カードを「カチッ」と音がするまで押し込み、取り出す。

■新しく買ったカードを使うには
はじめて使用するときは、フォーマットする (P.28)。

動作確認済みのカード

次のカードで動作確認をしています。その他のカードでは動作保証していませんので、市販のカードをお使いになるときは、十分にご注意ください。

SD メモリーカード	松下製 (Panasonic)、東芝製 (TOSHIBA)、サンディスク製 (SanDisk)、PQI 製

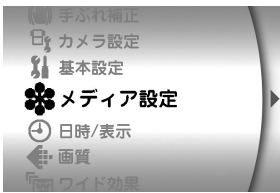
■動画を撮影するときは
書き込み速度が 10MB/s 以上のカードをお使いください。

お知らせ
●その他のカードをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。
●PQI 製のカードは、静止画の撮影のみ動作確認をしています。

準備する 7

カードをフォーマットする

新しく買ったカードをはじめて使うときは、以下の手順でフォーマットしてください。カードへの記録速度などが安定します。

ご注意
- ファイル(動画や静止画)を記録したカードをフォーマットすると、プロテクト(P.80)したファイルを含めて、すべてのファイルが消去されます。
- パソコンでフォーマットしないでください。

1. 押したままスライドして、「撮影」にする
2. メニューを表示する
3. 「メディア設定」を上下ボタンで選び、決定ボタン(▶II)で決定する

4. 「フォーマット」を上下ボタンで選び、決定(▶II)する

「SD」を上下ボタンで選び、

決定 (▶II) する

「実行」を上下ボタンで選び、

決定 (▶II) する

しばらくすると「フォーマットを終了しました」と表示されます

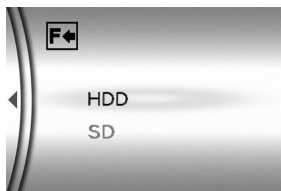
決定 (▶II) する

メニューを消す

■ハードディスクをフォーマットするには

手順 5 で「HDD」を選ぶ。

ハードディスクのファイルの復元を困難にする

ファイルを削除したり、ハードディスクをフォーマットしても、市販のデータ復元 (修復) ソフトなどを使用すると、ファイルを復元できる場合があります。復元を困難にするには、手順 5 で「HDD」を選び、削除ボタン (🗑) を押したまま決定ボタン (▶II) を押します。これを繰り返し行うことで、復元をさらに困難にできます。

■ファイルの復元を不可能にするには

「カメラやメモリーカードを廃棄／譲渡するときのご注意」(P.3)

■再度記録するときは

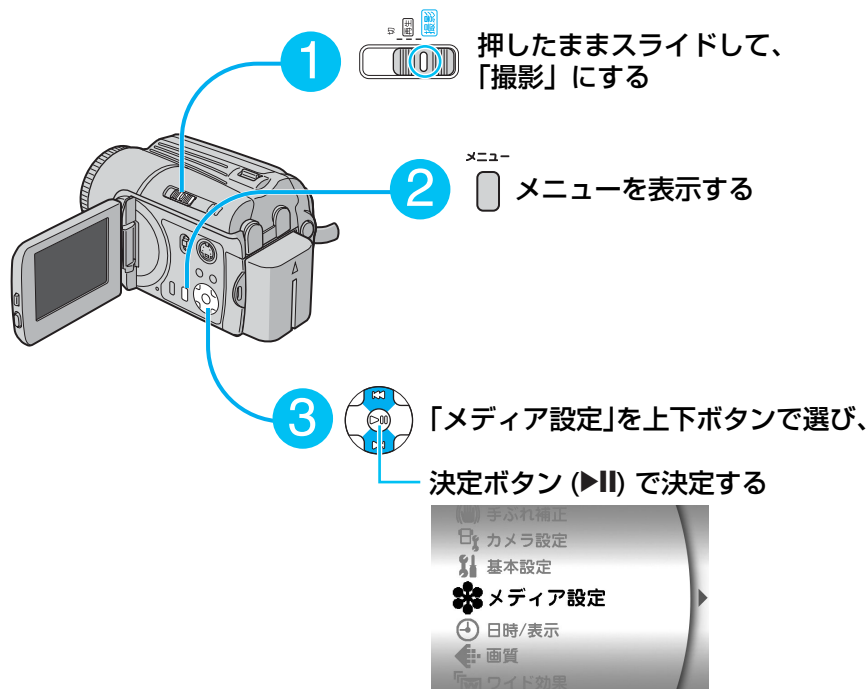
通常のフォーマットを行う。

お知らせ
- 処理には時間がかかります。あらかじめ AC アダプターを取り付けてください。
- ファイルの復元を困難にするフォーマットの画面には、フォーマットの進み具合をあらわすバーが表示されます。バーがでないときは、「キャンセル」を選んで再度手順 4 からやり直してください。

準備する 8

記録先（再生先）を指定する

お買い上げ時には、動画と静止画をハードディスクに記録するように設定されています。動画や静止画をカードに記録するときは、以下の手順で記録先を変更します。

例）静止画の記録先をカードに指定する場合

4

「静止画モード」を上下ボタンで選び、

決定 (▶II) する

5

「SD」を上下ボタンで選び、

決定 (▶II) する

・ハードディスクに記録するときは、「HDD」を選びます。

6 メニュー

メニューを消す

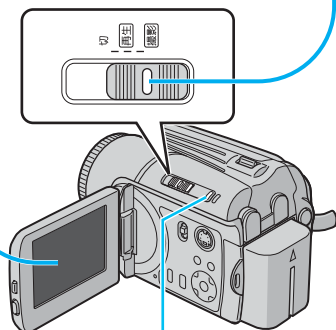
■動画の記録先を指定するには
手順４で「動画モード」を選ぶ。

■再生するときは
記録先にあるファイルを再生する。
別のメディアのファイルを再生するには、記録先を変更する。

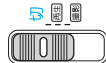
お知らせ ●再生時の「メディア設定」は、撮影時の「メディア設定」と連動しています。どちらで設定しても構いません。

すぐ使う 1 撮影・再生の基本操作

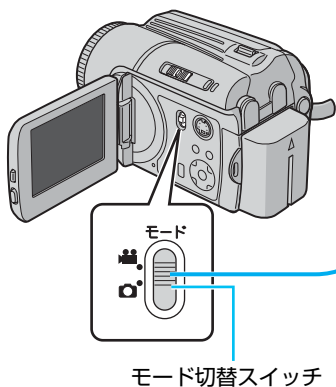
撮影・再生・編集など、すべての場面に共通する操作です。以降のページでは、これらの操作説明を 準 備 として省略する場合があります。

電源を入れる 電源スイッチ

■撮影するとき
「撮影」にあわせる。

■再生するとき
「再生」にあわせる。

■電源を切るとき
「切」にあわせる。

お知らせ ●電源スイッチが「撮影」のときは、画面を開閉することで、電源を入／切できます (クイックパワーオフ)。

動画／静止画を選ぶ モード切替スイッチ

1 スライドして、モードにあわせる

■動画 (ムービー) を撮影／再生するとき
「🎥」にあわせる。

動画アイコン
(画面表示)

■静止画 (写真) を撮影／再生するとき
「📷」にあわせる。

静止画アイコン
(画面表示)

オート撮影を確認する

手軽に撮影するときは、オート撮影にします。
画面左上に A が表示されていることを確認してください。

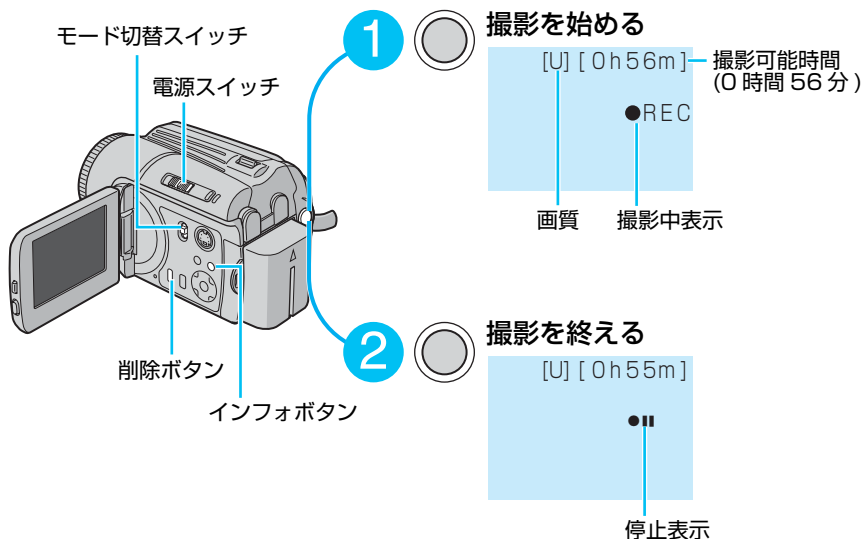
オート撮影の表示

■表示が異なるときは
画面左上の M が A に変わるまで、十字ボタンの右ボタン (A/M) を押し続ける。

■マニュアル撮影するときは
画面左上の A が M に変わるまで、十字ボタンの右ボタン (A/M) を押し続ける (P.44 、45、46)。

すぐ使う 2

動画（ムービー）を撮る

準備
- 電源スイッチ　　　　：撮影
- モード切替スイッチ：🎥

■より長時間撮るには
画質を変更する (P.76)。

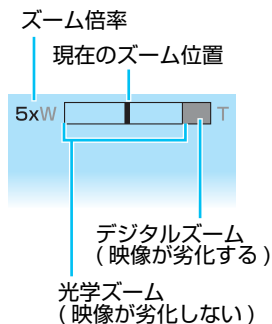
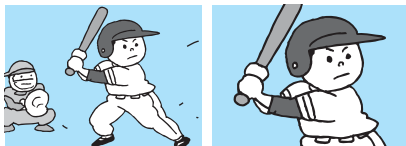
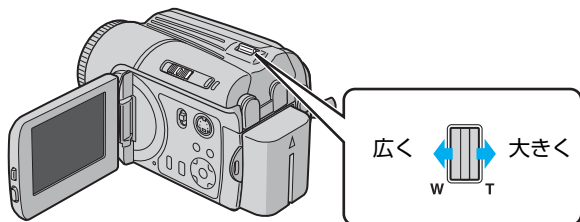
■撮影した直後に動画を削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。

■撮影可能時間を詳しく知るには
撮影を終えてから、インフォボタンを押す。メディアの使用状況と画質ごとの撮影可能時間を確認できる。

お知らせ
- 節電のため、バッテリー使用時に操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かします。
- カメラの温度が上がると、画面の「REC」が点滅します。そのまま温度が上がり続けると、メディア保護のために撮影を停止することがあります (P.88)。
- 動画を連続して 12 時間撮影すると、自動的に撮影を停止します。
- 動画のファイルサイズは、最大で 4GB です。連続して撮影することで 4GB を超える場合は、複数の動画ファイルに分割して記録されます。

大きく／広く撮る　ズーム

被写体を大きくしたり (望遠：T)、撮影する範囲を広くしたり (広角：W)、撮影中に自由に調節できます。

準 備　●電源スイッチ：撮影

■接写するには
W 側いっぱいまで動かす。被写体に約 5cm まで接近できる。

■デジタルズームを使わずに撮影するには
メニューの「カメラ設定」で「ズーム」を「10 倍」に設定する (P.77)。

すぐ使う 3

動画を見る

準備
- 電源スイッチ　　　　：再生
- モード切替スイッチ：🎥

■インデックスでの操作について
「インデックスで選ぶ」(P.42)

■動画インデックスに戻るには
一時停止中にズームレバーをW側へ押す。

お知らせ
- シーンとシーンのつなぎ部分では、映像が一瞬止まったり、音が途切れることがありますが、故障ではありません。
- カメラの温度が上がり続けると、画面の「▶」が点滅します。そのまま温度が上がり続けると、メディア保護のために再生を停止することがあります (P.88)。
- 動画インデックス画面には、撮影を始めたときの映像が表示されています。

■再生時の操作について

⏮ ：ファイル先頭へ戻る

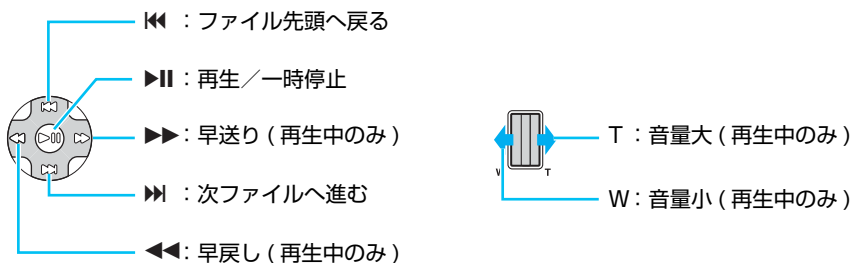
▶II：再生／一時停止

▶▶：早送り (再生中のみ)

⏭ ：次ファイルへ進む

◀◀：早戻し (再生中のみ)

T ：音量大 (再生中のみ)

W：音量小 (再生中のみ)

・ 一時停止中の左右ボタン (◀◀ ▶▶) は、コマ送りです。押し続けるとスロー再生になります。
・ 早送り／早戻し中は、左右ボタン (◀◀ ▶▶) を押すたびに再生速度が変化します。(正逆 60 倍速まで)

■再生時に拡大するには (再生ズーム)
一時停止中にズームレバーを T 側に動かす。拡大中の操作は、静止画の再生ズームと同じ (P.40)。

■動画を削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。左右ボタンで削除する動画を変更できる。

■複数の動画を一度に削除するには
メニューの「削除」で「ファイル選択」を選ぶ (P.49)。

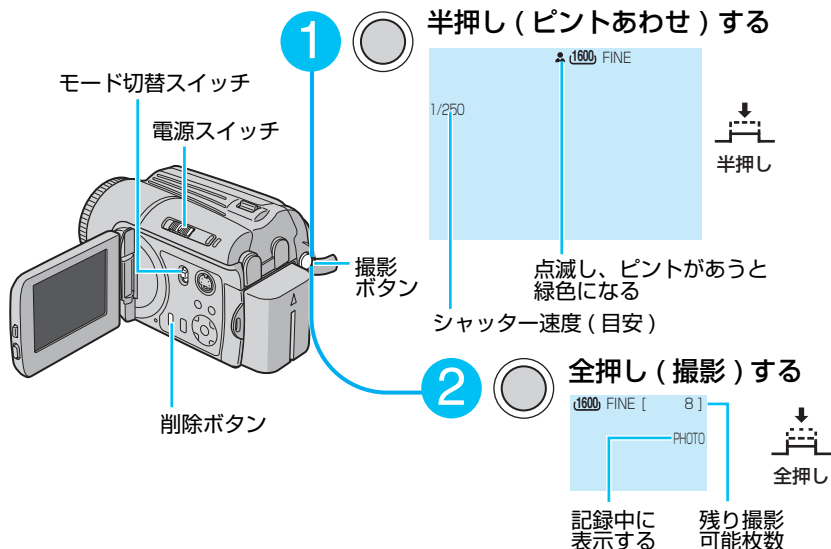
■撮影日を表示するには
メニューの「日時表示」で「オート」または「入」を選ぶ (P.74)。

■画面表示を消すには
インフォボタンを何度か押す。

■動画のファイル情報を見るには
一時停止中にインフォボタンを押す (P.17)。

お知らせ ●動画再生時は撮影時刻が表示されず、撮影日のみ表示されます。撮影を開始した時刻を確認するには、ファイル情報を表示してください。

すぐ使う 4 静止画（写真）を撮る

準備
- 電源スイッチ　　　：撮影
- モード切替スイッチ：📷

■連写するには
連写を設定 (P.77) したあとに、撮影ボタン（◎）を押し続ける。

■セルフタイマーを使うには
セルフタイマーを設定する (P.77)。

■ズームするには
ズームレバーを動かす (P.35)。

■より多く撮影するには
画質や画像サイズを変更する (P.77)。

■撮影した直後に静止画を削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。

お知らせ ●節電のため、バッテリー使用時に操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かします。

フラッシュを使う

フラッシュを発光させたり、被写体の目が赤くなる現象(赤目)を軽減したりできます。

準備
●電源スイッチ　　　：撮影
●モード切替スイッチ：📷

1 何度か押して、画面右上の ϟA などを変更する

ϟA

フラッシュの表示

アイコン	機能名	説明
ϟA	●オート	周囲が暗いと自動的に発光する。
ϟA👁	赤目	周囲が暗いと自動的に、2 回連続発光して赤目を軽減する。
ϟ	強制オン	必ず発光する。
ϟS	スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして必ず発光することで、人物と背景をともに明るく撮影する。(後幕)
なし	切	発光しない。

●印は、お買い上げ時の設定です。

■フラッシュを発光させないためには
フラッシュの表示を消す。

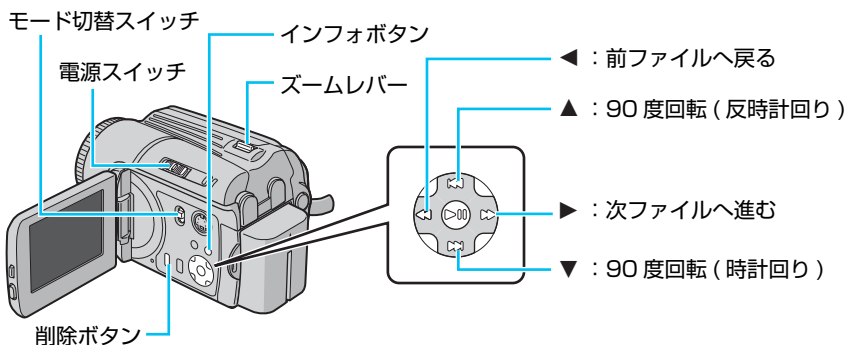
■フラッシュの表示 (ϟ) が点滅するときは
フラッシュの表示が点灯するまで待つ。
フラッシュは充電中です。

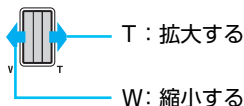
■フラッシュが暗く感じるときは
メニューで「感度」を「オート」または「160」に設定する (P.78)。
マニュアル撮影で「S.SP」を「🦉(ナイトアイ)」に設定する (P.48)。

お知らせ ●フラッシュは、連写と同時に使えません。

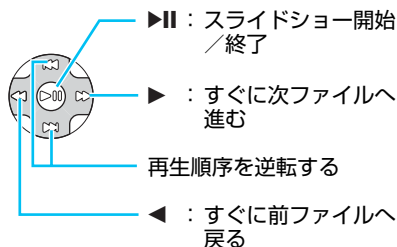
すぐ使う 5 静止画を見る

準 備 ●電源スイッチ　　　：再生
●モード切替スイッチ：📷

上記の「準備」を終えると、最後に撮影した静止画が表示されます。

■静止画をインデックスで選ぶには
「インデックスで選ぶ」(P.42)

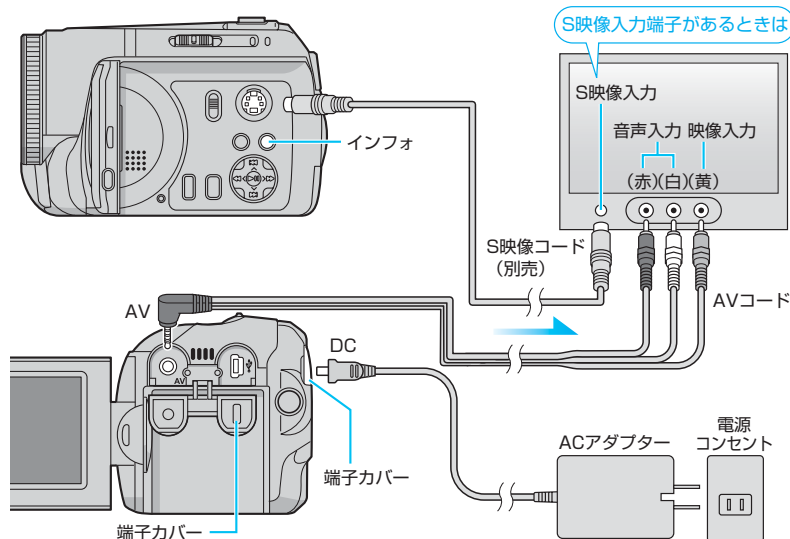
■再生時に拡大するには (再生ズーム)
ズームレバーを T 側に動かす。拡大中は、十字ボタンで拡大する領域を移動できる。

■静止画のファイル情報を見るには／画面表示を消すには
インフォボタンを何度か押す (P.17)。

■セピア色や白黒にするには
「エフェクト」(P.81)

■スライドショーをするには
再生ボタン (▶II) を押すと、静止画を順番に自動再生する。

■静止画を削除するには
削除ボタン (🗑) を押す。左右ボタンで削除する静止画を変更できる。

■複数の静止画を一度に削除するには
メニューの「削除」で「ファイル選択」を選ぶ (P.49)。

テレビで見る

準 備
- ●AC アダプターを取り付ける (P.21)
- ●テレビの表示を、ビデオカメラを接続した外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2 など) にあわせる
- ●電源スイッチ ：再生

■再生するには
カメラで見るときと同じ操作で再生する。動画 (P.36)、静止画 (P.40)。

■画面の表示を消すには
インフォボタンを何度か押す。

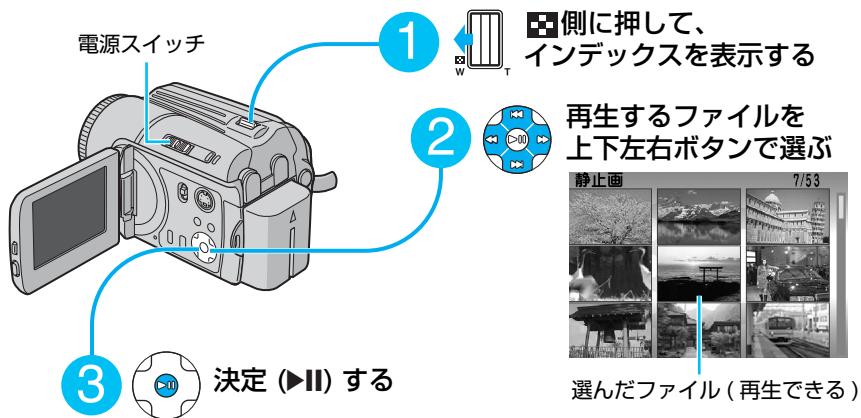
■日付などの表示を出すには
メニューで「日時表示」を「入」に設定する (P.74)。
動画再生時は、撮影時刻が表示されません (P.37)。

お知らせ ●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。

すぐ使う 7

インデックスで選ぶ

動画や静止画を一覧から選んで再生するときは、インデックスを使います。

準 備 ●電源スイッチ：再生

ファイルを探す スライドバー

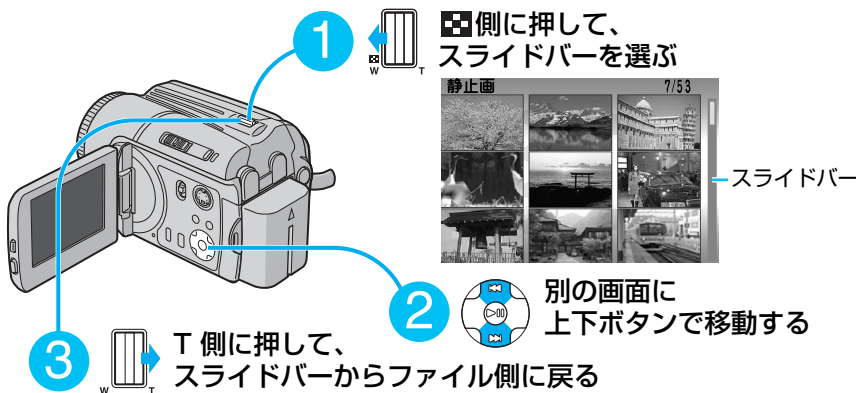
スライドバーを使うと、前の画面や次の画面をすばやく表示できます。

準備 ●インデックスを表示する（P.42）

1 側に押して、スライドバーを選ぶ

スライドバー

2 別の画面に上下ボタンで移動する

3 T 側に押して、スライドバーからファイル側に戻る

撮影日でファイルを探す 日付インデックス

準備 ●インデックスを表示する（P.42）

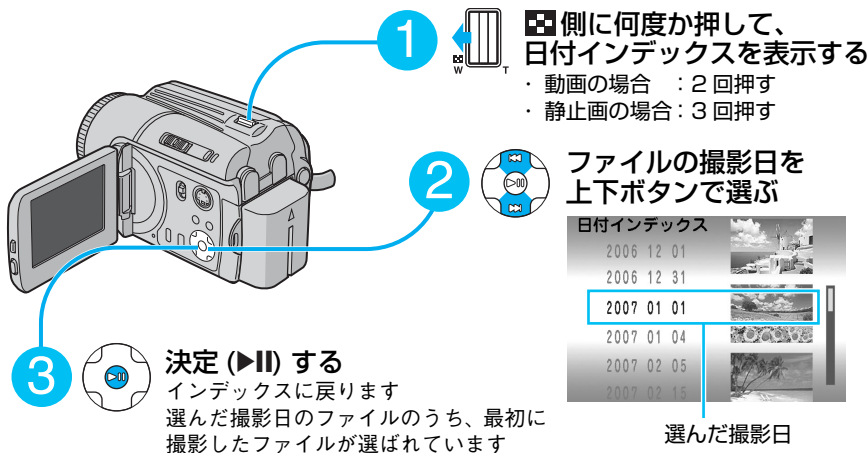
1 側に何度か押して、日付インデックスを表示する

- 動画の場合　：2 回押す
- 静止画の場合：3 回押す

2 ファイルの撮影日を上下ボタンで選ぶ

選んだ撮影日

3 決定（▶II）する

インデックスに戻ります
選んだ撮影日のファイルのうち、最初に撮影したファイルが選ばれています

■スライドバーを使うには
ズームレバーをさらに W 側に押す。操作方法はインデックスと同じ。

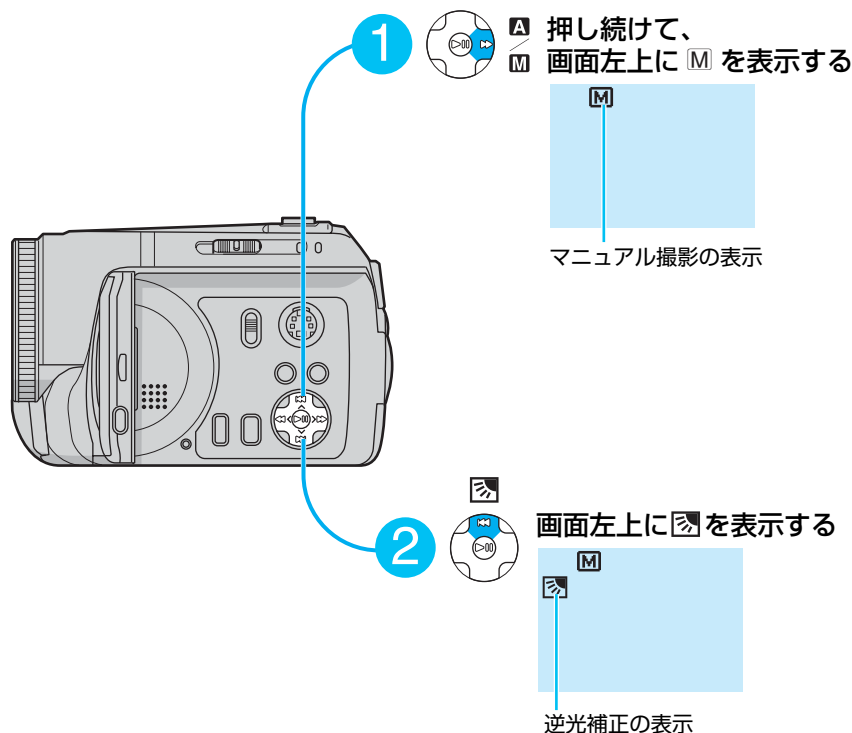
もっと撮る 1 明るさを補正する

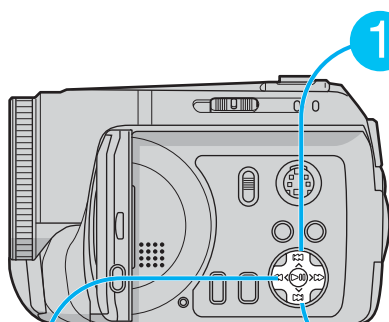
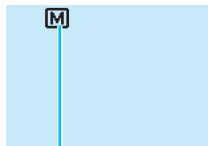
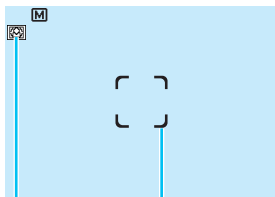
逆光で撮る 逆光補正

被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないように補正します。

準備 ●電源スイッチ：撮影

■逆光補正を解除するには
や が消えるまで、上ボタンを押す。一時的に解除するには、オート撮影にする
(P.33)。

最適な明るさにする スポット補正

逆光補正がうまくいかないときや、画面の一部にあわせて明るさを調節したいときなどに使います。

準備 ●電源スイッチ：撮影

■スポット補正を解除するには

や が消えるまで、上ボタンを押す。一時的に解除するには、オート撮影にする (P.33)。

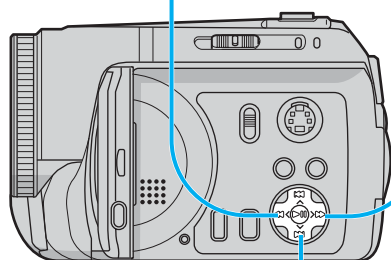
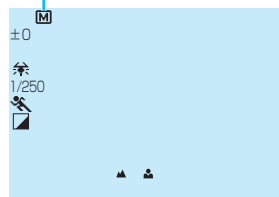
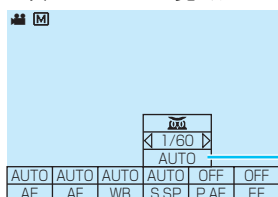
■明るさを固定するには

手順 3 で決定ボタン (▶II) を 2 秒以上押し続け、スポット補正アイコンの隣に L を表示させる。

動きのある被写体を撮影するときや、撮影中にズーム操作をするときは、明るさを固定すると自然な映像になります。

マニュアル撮影する

ピントを手動で調節したいときや、映像に効果（エフェクト）を加えて撮影したいときなどは、マニュアル撮影に切り替えます。

準備 ●電源スイッチ：撮影

各機能のアイコンの例

項目を上下ボタンまたは左右ボタンで選び、

決定 (▶II) する

設定を終了する

メニューが消え、設定した機能のアイコンが表示されます

M設定

■複数の機能を設定するには

手順４のあと、手順３～４を繰り返す。

■設定を解除するには

それぞれの設定を元に戻す。一時的に解除するには、オート撮影にする (P.33)。

メニュー	機能名	項目と意味
AE	明るさ	【動画の場合】 ● AUTO：自動的に明るさを調節する。 －６～＋６：この範囲で、明るさを１刻みで補正する。 【静止画の場合】 ● ±０：明るさを補正しない。 －2.0～＋2.0：この範囲で、明るさを 1/3EV 刻みで補正する。 (明るさを固定するときは、設定を終了してメニューが消えたあとに、決定ボタン (▶II) を２秒以上押し続けます。L と表示されます。)
AF	フォーカス	● AUTO：自動的にピントをあわせる。 ▲◀▶■：手動でピントをあわせる。 左右ボタンでピントをあわせ、決定(▶II)する。 (ズームするときは、望遠 (T) 側でピントをあわせてから広角 (W) 側にズームすると、ピントがずれません。)
WB	WB (ホワイトバランス)	● AUTO：自動的にホワイトバランス調節する。 ワンタッチ：被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に写す。 ②「」の点滅が止まるまで、決定ボタン (▶II) を押し続ける。 はれ：晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。 くもり：くもりの日や日陰で撮影するときに選ぶ。 ハロゲン：ハロゲン撮影用ライトなど、照明の下で撮影するときに選ぶ。

メニュー	機能名	項目と意味
S.SP	シャッター	●AUTO：シャッタースピードを自動的に調節する。 1/4 ～ 1/4000(動画) 1/4 ～ 1/500(静止画)： 1/4 ～ 1/250(フラッシュ使用時)： シャッター速度を設定して、シャッター速度による撮影効果を狙うときに選ぶ。 ・右ボタンを押して数値を小さくする(シャッター速度を上げる)と、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮影できる。(被写体が暗くなることがあります。) ・左ボタンを押して数値を大きくする(シャッター速度を下げる)と、動きのある被写体の流れを撮影できる。(手ブレしやすくなるので、三脚などで固定することをお勧めします。) (ナイトアイマーク)：ナイトアイ。薄暗いところで、より明るく撮影したいときに選ぶ。シャッター速度は1/2。(手ブレしやすくなるので、三脚などで固定することをお勧めします。)
P.AE	プログラムAE	●OFF：映像の明るさを自動的に調整する。 スポーツ：動きの速い被写体を、1コマ1コマ鮮明に撮影したいときに選ぶ。 スノー：晴れた日の雪原など、周囲が明るく映りすぎるときに選ぶ。 スポットライト：スポットライトが当たって、被写体が明るく映りすぎるときに選ぶ。 夜景：夜景などを自然な感じに撮影したいときに選ぶ。
EF	エフェクト	●OFF：映像に効果を付けない。 セピア：古い写真のようなセピア色で撮影できる。 白黒：白黒映画のようにモノクロで撮影できる。 映画効果：速いコマ落としを付けて、映画のような効果を付けられる。 ストロボ：コマ落としで、連続写真のように撮影できる。

●印は、お買い上げ時の設定です

お知らせ ●エフェクトの「映画効果」と「ストロボ」は、動画モード(動画マーク)のときに有効になります。

ファイルを削除する

準備
- 電源スイッチ　　　　：再生
- モード切替スイッチ：削除するファイルにあわせる (動画 または 静止画)

1 メニュー　メニューを表示する

2 「削除」を選び、
決定 (▶II) する

3 「ファイル選択」を選び、
決定 (▶II) する
インデックスが表示されます

4 削除するファイルを選び、
決定 (▶II) する

ファイルに削除マーク (🗑) が付きます

5 手順 4 を繰り返す

6 メニュー　インデックスを抜ける

7 「削除を実行して終了」を選び、
決定 (▶II) する

8 削除を終了する

9 メニュー　メニューを消す

■表示中のファイルのみを削除するには
手順 3 で「表示ファイル」を選ぶ。または、ファイルの表示中に削除ボタン (🗑) を押す。

■すべてのファイルを削除するには
手順 3 で「すべて削除」を選ぶ。

■削除できないようにするには
手順 2 で「プロテクト」を選んでプロテクトを設定する (P.80)。操作は削除と同じ。

■静止画や動画を削除のまえに確認するには
手順 4 でズームレバーを T 側に押し、プレビュー画面を表示する。インデックス画面に戻るには、W 側に押す。

いろいろな編集

テレビで見る／ビデオ機器へダビングする

本機でプレイリストを作る

1 **動画ファイルを並べる** ▶ 「プレイリストを作る」(P.52)

2 **プレイリストを再生する** ▶ 「プレイリストを再生する」(P.54)

3 **ビデオ機器へダビングする** ▶ 「ダビングする」(P.56)

DVD ビデオや Video CD を作る

パソコンで見る／編集する

別紙の『簡単な DVD 作成のしかた』(または、『動画ファイルの編集のしかた』) をご覧ください。

1 **付属のアプリケーションをインストールする** ▶ 『取扱説明書 - インストール編 -』

2 **動画をパソコンへコピーする** ▶ 「パソコンに接続する」(P.58)

3	付属の アプリケーションで 再生する	■Windows の場合 PowerDVD（付属）で再生する。 ・動画ファイル（拡張子「.MOD」）をドラッグ＆ドロップします。 ●Macintosh の場合 Capty MPEG Edit EX（付属）で簡易再生する。 ・動画ファイル（拡張子「.MOD」）をドラッグ＆ドロップします。
4	付属の アプリケーションで 動画を編集する	■Windows の場合 PowerDirector（付属）で編集する。 ・PowerDirector の PDF マニュアルをご覧ください。 ●Macintosh の場合 Capty MPEG Edit EX（付属）で編集する。 ・Capty MPEG Edit EX のヘルプをご覧ください。
5	付属または市販の アプリケーションで DVD ビデオや Video CD を作る	■Windows の場合 PowerProducer（付属）で作成する。 ・PowerProducer の PDF マニュアルをご覧ください。 ●Macintosh の場合 市販のアプリケーションをお使いください。 ピクセラ社の Capty DVD/VCD Ver.2 を推奨します。
6	パソコンや市販の DVD プレーヤー などで再生する	それぞれの取扱説明書をご覧ください。

編集せずに DVD ビデオを作る

編集の必要がないときは、動画ファイル (拡張子「.MOD」) から簡単に DVD ビデオを作ることができます。

■Windows の場合
PowerDirector(付属) と PowerProducer(付属) を使います。詳しくは、別紙の『簡単な DVD 作成のしかた』をご覧ください。

■Macintosh の場合
ピクセラ社の Capty DVD/VCD Ver.2(市販) をお使いください。

お知らせ ●Capty DVD/VCD Ver.2 をお使いになる場合、バージョン 2.5.2 以降にアップデートしてください。アップデータは、ピクセラ社のホームページからダウンロードできます。
http://www.pixela.co.jp/

編集と印刷 2 プレイリストを作る

複数の動画を好みの順序で続けて再生するには、プレイリスト機能を使います。まず、次の操作でプレイリストを作り、動画を好みの順序に並べます。

準備
- 電源スイッチ　　　：再生
- モード切替スイッチ：🎥

▲：動画を選ぶ
／スライドバーを動かす

▶：右欄（プレイリスト）へ移動
／つなぎ目へ移動

▼：動画を選ぶ／スライドバーを動かす

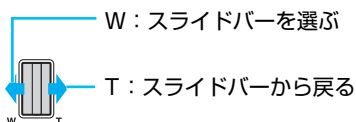
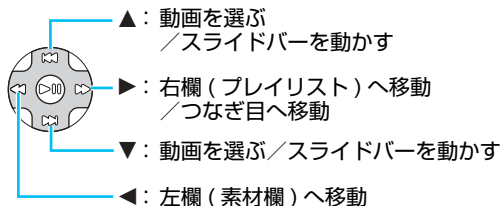
◀：左欄（素材欄）へ移動

W：スライドバーを選ぶ

T：スライドバーから戻る

1 メニュー メニューを表示する

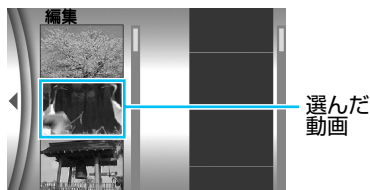
2 「プレイリスト」を選び、決定（▶II）する

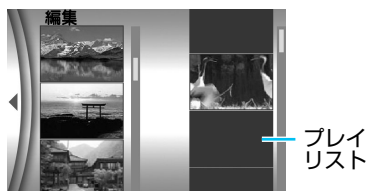
基本設定
メディア設定
日時/表示
プレイリスト
場面切替
エフェクト
プロテクト

3 「編集」を選び、決定（▶II）する

プレイリストの一覧が表示されます

4 「新規作成」を選び、決定（▶II）する

5 素材欄の動画を選び、

決定 (▶II) する
- スライドバーを使うこともできます。

6 決定 (▶II) する

プレイリストに追加されます

7 手順 5 ～ 6 を繰り返す
- 動画の挿入位置を変更するには、手順 6 で上下ボタンを押します。

8 メニュー 編集を終了する

9 プレイリストを保存する
編集を終了した日時が、プレイリストの名前になります

■プレイリストから動画を削除するには
プレイリストの動画を選んで、削除ボタン (🗑) を押す。

■プレイリストの内容を確認するには
プレイリストの動画を選んで再生 (▶II) すると、選んだ動画から連続再生される。
途中で再生をやめるには、再生を一時停止 (▶II) し、ズームレバーを W 側へ押す。

■リモコンで編集するには
「リモコン」のプレイリストボタンを押す (P.14)。

■プレイリストの動画のつなぎ目を確認するには
プレイリストの動画を選び、動画と動画のつなぎ目を右ボタンで選ぶ。再生 (▶II) すると、つなぎ目の前後 2 秒ずつを確認できる。
別のつなぎ目を確認するには、上下ボタンで選ぶ。
もう一度右ボタンで動画を選んだ状態に戻る。

■既存のプレイリストを再編集するには
手順 4 で既存のプレイリストを選ぶ。

お知らせ
- 最大で 99 個までプレイリストを作れます。
- 1 つのプレイリストには、動画を最大で 99 ファイルまで登録できます。

プレイリストを再生する

準備

- 電源スイッチ：再生
- モード切替スイッチ：🎥

▶II：プレイリストを再生する

▲▼：プレイリストを選ぶ／スライドバーを動かす

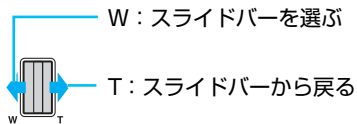
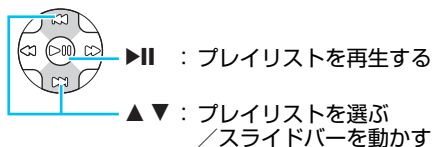
W：スライドバーを選ぶ

T：スライドバーから戻る

1 メニュー　メニューを表示する

2 「プレイリスト」を選び、決定（▶II）する

基本設定
メディア設定
日時/表示
プレイリスト
場面切替
エフェクト
プロテクト

3 「一覧」を選び、決定（▶II）する

プレイリストの一覧が表示されます

4 再生するプレイリストを選び、決定（▶II）する

・スライドバーを使うこともできます。

5 動画と同じ操作で再生する (P.36)

画面左上に「P」が表示されます

プレイリスト再生の表示

■プレイリストの再生を終了するには

手順 4 で「すべてのシーン」を選ぶと、通常の動画再生に戻る。

■プレイリストを構成する動画をそれぞれ再生するには

手順 5 の再生画面で一時停止 (▶II) し、ズームレバーを W 側へ押し、動画のインデックスを表示する。インデックスの操作は、通常の動画のインデックスと同じ (P.42)。

■プレイリストを削除するには

手順 3 で「削除」を選ぶ。

■プレイリストの名前を変更するには

手順 3 で「名前の変更」を選ぶ。キーボードが表示されるので、入力する文字を選んで決定する。

「A/a/@/ ア」: 大文字 / 小文字 / 記号 / カタカナの切り替え
「←」 : 1 文字戻り
「→」 : 1 文字送り
「クリア」 : 1 文字削除
「キャンセル」 : 保存しないで終了
「↵」 : 保存して終了

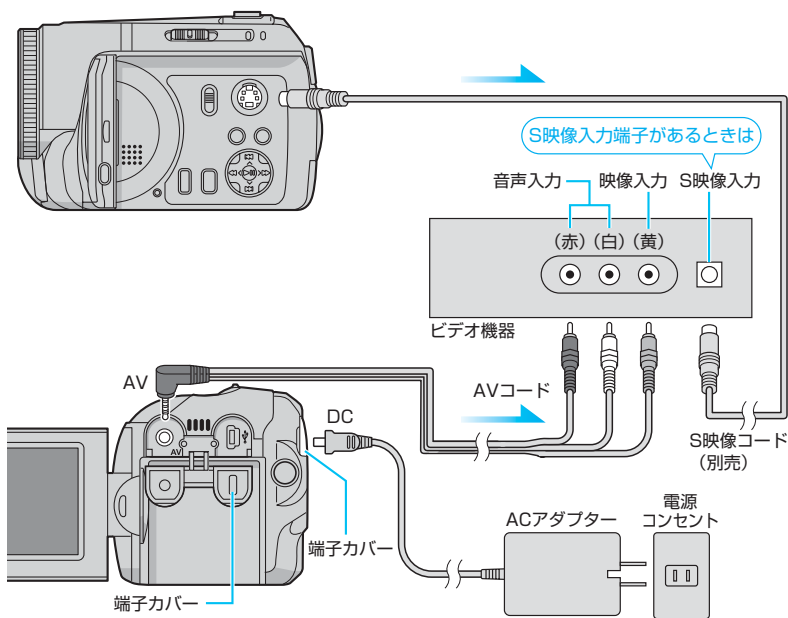
お知らせ ●オリジナルの動画を削除すると、プレイリストからも削除されます。

編集と印刷 4

ダビングする

ビデオ機器へ接続して、動画やプレイリストをダビングできます。

接続する

準 備
- ●ACアダプターを取り付ける (P.21)
- ●電源スイッチ　　　：再生
- ●モード切替スイッチ：🎥

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

動画をダビングする

再生側（本機）	録画側（ビデオ機器）

1 録画の準備をする

2 動画を再生（▶II）する（P.36）

3 「録画」ボタンを押す

4 「停止」ボタンを押す

プレイリストをダビングする

ダビングする際に、映像の最初と最後に約５秒間の黒画面が入ります。

再生側（本機）	録画側（ビデオ機器）

1 録画の準備をする

2 「プレイリスト」の「一覧」で、ダビングするプレイリストを選ぶ（P.54）

・ 決定ボタン（▶II）は押しません。

3 右ボタンでダビング再生画面を表示する

4 「再生開始」を選び、決定（▶II）する

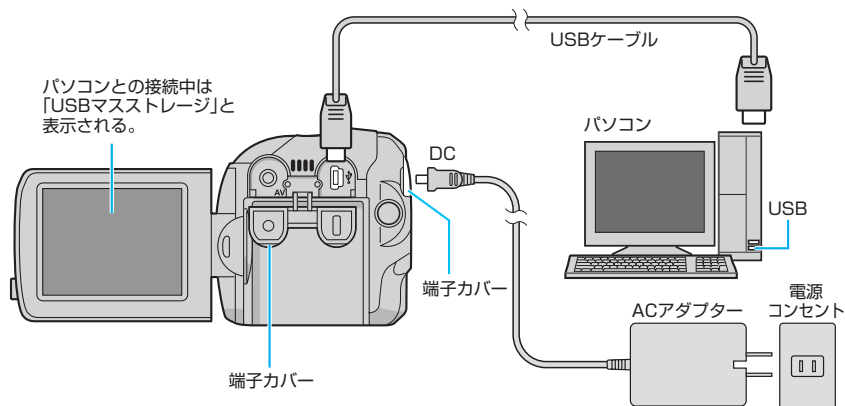
5 黒画面が表示されているうちに、「録画」ボタンを押す

プレイリストの映像が再生され、続いて黒画面になります

6 黒画面が表示されているうちに、「停止」ボタンを押す

パソコンに接続する

付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続すると、ファイル (動画と静止画) をパソコンへコピーできます。

準 備
- AC アダプターを取り付ける (P.21)
- 電源スイッチ：再生

USB ケーブルで接続すると、パソコンの「マイコンピュータ」に、カメラのメディアが「リムーバブルディスク」として表示されます。
※ Macintosh の場合は、デスクトップに「No_NAME」として表示されます。

■メディア (リムーバブルディスク) が 2 つ表示されるときは
ハードディスクとカードを見分けるには、ファイルの中を確認する (P.59)。

■メディア (リムーバブルディスク) が表示されないときは
「メディアが表示されない」(P.85)

■本機を接続できるパソコン
UBS 2.0 端子を標準装備するパソコン

■動作確認済み OS
Windows 2000 Professional SP4、
Windows XP Home Edition、
Windows XP Professional
(いずれもプリインストール版)
Mac OS X 10.2.8、
Mac OS X 10.3.1 ～ 10.3.9

■USB ケーブルを取りはずすには (Windows の場合)

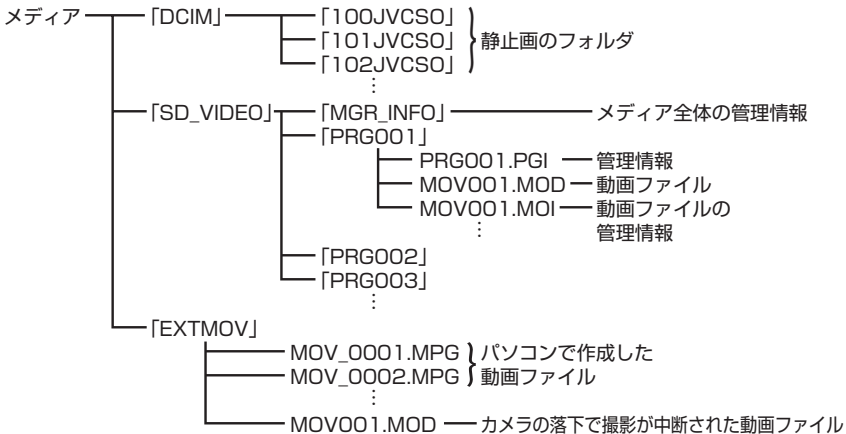
①タスクトレイの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする。

②表示された画面で「停止」をクリックする。
③次の画面で「OK」をクリックする。
④USB ケーブルを取りはずす。

■USB ケーブルを取りはずすには (Macintosh の場合)

①デスクトップの「No_NAME」アイコンを、ゴミ箱へ移動する。
②USB ケーブルを取りはずす。

■フォルダ構成

動画　：SD_VIDEO フォルダのなか、PRGxxx フォルダ (xxx は数字)
静止画：DCIM フォルダのなか、xxxJVCSO フォルダ (xxx は数字)

※管理情報：動画ファイルと共に記録した記録日時、記録時間などの情報のこと。

■ファイルの種類と拡張子

動画　　：MPEG2 ファイル、拡張子「.MOD」
静止画　：JPEG ファイル、拡張子「.JPG」

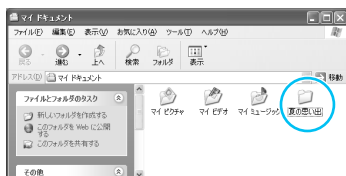
※ファイルの拡張子が表示されていないときは、フォルダオプションの設定を変更します (P.85)。

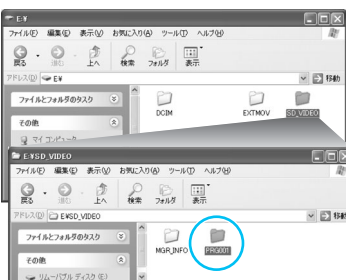
お知らせ
- 動画ファイルの再生と加工には、付属ソフトウェアをお使いください。
- メディア内には、前ページにないフォルダやファイルも記録されています。
- メディア内のフォルダとファイルは、パソコンで削除・移動・名称変更しないでください。(EXTMOV フォルダのなかのファイルは、パソコンで削除できます。)
- 動画ファイルのファイル名は、撮影順に MOV_001.MOD … MOV_009.MOD, MOV_00A.MOD … MOV_00F.MOD, MOV_010.MOD …とつけられます。

ファイルをパソコンにコピーする

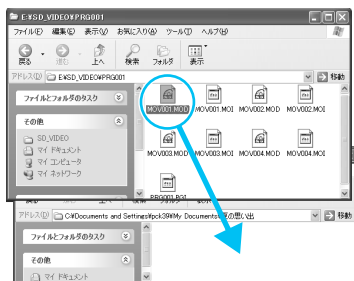
メディア内のファイルをパソコンで再生するときは、ファイルをパソコンにコピーしてから再生してください。パソコンから直接メディア内のファイルを再生すると、処理速度の問題などにより、正しく再生できないことがあります。

例）動画をコピーする場合

1 パソコンのなかにファイルを入れるフォルダを作る

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」を開く
- Macintosh の場合は、デスクトップの「No_NAME」アイコンを開きます。

3 動画ファイルのあるフォルダを開く
- 「フォルダ構成」(P.59)
- SD_VIDEO フォルダと共に、EXTMOV フォルダのなかも確認してください。

4 すべての動画ファイル (拡張子 .MOD) を、パソコンのフォルダへ移す

動画ファイルがコピーされます

・ ファイルを選んでコピーする場合は、ファイル名をあらかじめ調べておきます (P.17)。

パソコンから動画ファイルをコピーする

付属のソフトウェアで編集した動画ファイル (MPEG2 ファイル、拡張子「.MPG」) をカメラで再生するときは、次の手順で EXTMOV フォルダに入れます。

1 動画ファイルのファイル名を、「MOV_xxxx.MPG」(xxxx は 4 桁の数字) に変更する

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」を開く

3 EXTMOV フォルダを開く

・「フォルダ構成」(P.59)

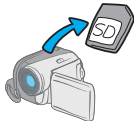
4 手順 1 の動画ファイルを、EXTMOV フォルダへ移す

動画ファイルがコピーされます

■カメラで再生できない動画ファイル

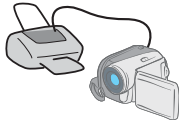
・ ファイル名が正しく付けられていないもの。
・ ファイル形式が MPEG2 ではないもの。
・ 付属のソフトウェア (Windows 版) 以外で作成したもの。
・ ビクター製ハードディスクムービー以外で作成した動画ファイルを、編集に使ったもの。

■EXTMOV フォルダの動画を再生／削除するには

動画ファイルのインデックス画面で撮影ボタンを押し、画面に「MPG」と表示する。以後の操作は、通常の動画再生と同じ。ただし、プレイリスト再生はできません。

編集と印刷 6

いろいろな印刷

静止画の印刷には 3 つの方法があります。目的にあった方法で印刷してください。

・店舗のプリントサービスを使う (DPOF)
・プリンターで印刷する (PictBridge)
・パソコンとプリンターで印刷する

店舗のプリントサービスを使う (DPOF)

印刷する静止画を指定して、カードを店舗へ持ち込む

1 **複数の静止画とそれぞれの印刷枚数を指定する**

「DPOF で印刷する」(P.64)

2 **メディアを取り出す**

「カードを入れる」(P.26)

3 **DPOF 対応のプリントサービスにメディアを持ち込む**

DPOF 対応の家庭用プリンターを使うこともできます。詳しくは、プリンターの説明書をご覧ください。

プリンターで印刷する（PictBridge）

PictBridge 対応プリンターに接続して印刷する

1 メニューの「ダイレクトプリント」を選ぶ

「ダイレクトプリントする」(P.66)

2 PictBridge 対応プリンターに本機を接続する

プリンターの説明書をご覧ください。

3 静止画を 1 つ選んで印刷する

あらかじめ DPOF 機能を使っておくと、複数の静止画を指定できます (P.64)。

パソコンとプリンターで印刷する

静止画をパソコンにコピーし、パソコンで印刷する

1 静止画をパソコンへコピーする

「パソコンに接続する」(P.58)

2 パソコンにプリンターを接続し、印刷する

パソコンとプリンターの説明書をご覧ください。

編集と印刷 7

DPOF で印刷する

DPOF (Direct Print Order Format) 対応のプリントサービスに、カードを持ち込んで印刷を依頼できます。カードを持ち込むまえに、印刷する静止画と、その印刷枚数を指定しておきます。

準 備

- ハードディスクの静止画を印刷する場合は、メニューの「コピー/ ムーブ」でカードへコピーする (P.74)
- 電源スイッチ　　　：再生
- モード切替スイッチ：📷

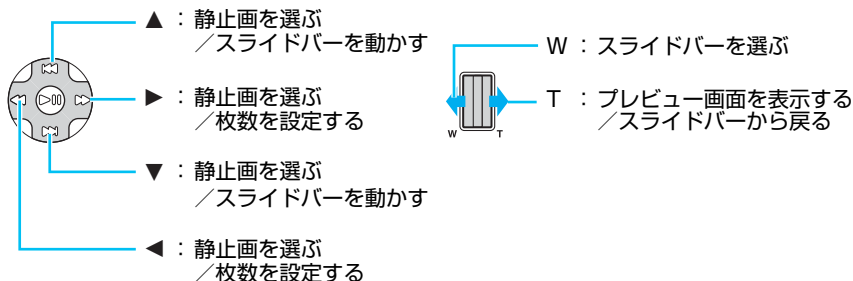
▲ ：静止画を選ぶ ／スライドバーを動かす

▶ ：静止画を選ぶ ／枚数を設定する

▼ ：静止画を選ぶ ／スライドバーを動かす

◀ ：静止画を選ぶ ／枚数を設定する

W ：スライドバーを選ぶ

T ：プレビュー画面を表示する ／スライドバーから戻る

1 メニューを表示する

メニュー

2 「DPOF」を選び、決定 (▶II) する

3 「画像を選択」を選び、決定 (▶II) する

4 静止画を選び、

決定 (▶II) する

・スライドバーを使うこともできます。

5 印刷する枚数 (最大 15 枚) を左右ボタンで選び、

決定 (▶II) する

6 メニュー DPOF 設定を終了する

■複数の静止画を印刷するには

手順 4 ～ 5 を、印刷する静止画の数だけ繰り返す。

■静止画を拡大して確認するには

静止画を選んでズームレバーを T 側へ押し続けているあいだ、静止画のプレビュー画面を表示する。

■設定をキャンセルするには

同じ静止画にもう一度設定すると、設定をキャンセルできる。
手順 3 で「リセット」を選ぶと、すべての DPOF 設定をリセットできる。

■設定を確認するには

手順 3 で「設定済みを確認」を選ぶと、DPOF を設定したファイルのインデックス画面が表示される。印刷する枚数を変更できる。

■すべての静止画を 1 枚ずつ印刷するには

手順 3 で「すべて 1 枚」を選ぶ。

お知らせ
●最大で 999 枚 (種類) までの静止画を、DPOF で印刷するように設定できます。
●日付インデックス (P.43) は表示できません。

編集と印刷 8

ダイレクトプリントする

PictBridge 対応のプリンターをお使いの場合、プリンターと本機を USB ケーブルで接続するだけで、パソコンを使わずに静止画を印刷できます。

準 備

- ACアダプターを取り付ける (P.21)
- 電源スイッチ　　　：再生
- モード切替スイッチ：📷

準備する

1 メニュー **メニューを表示する**

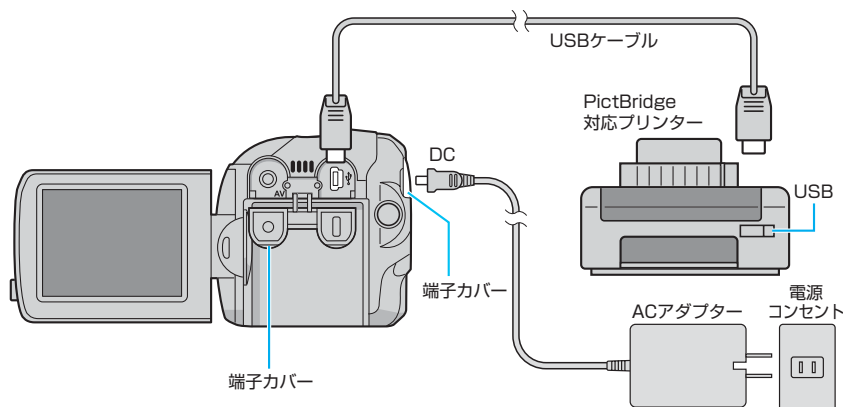
2 **「ダイレクトプリント」を選び、**

決定 (▶II) する

「プリンターを接続してください」と表示されます

お知らせ

- メニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、USBケーブルを接続します。先に USB ケーブルを接続しないでください。

プリンターを接続する

PictBridge 対応プリンターを接続してしばらく待つと、設定画面が表示されます。

お知らせ
- お使いのプリンターがPictBridge規格に対応していることを、プリンターの取扱説明書でご確認ください。
- プリンターを接続しても設定画面が表示されない場合や、ダイレクトプリントで印刷したあとにもう一度印刷する場合は、USB ケーブルを取りはずし、再びメニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、接続しなおします。

印刷する

1

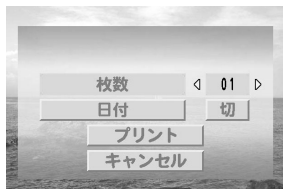
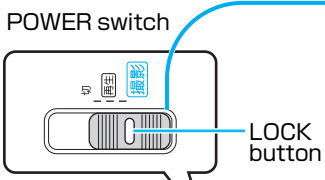
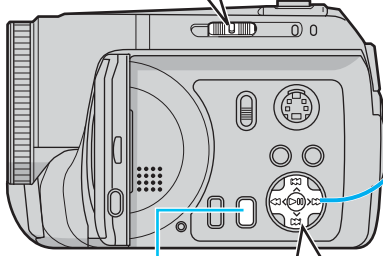
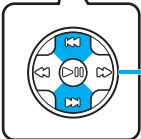
「選択印刷」を選び、

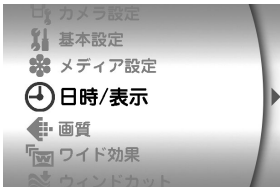
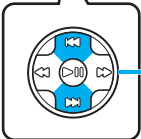
決定 (▶II) する

2

印刷する静止画を選び、

決定 (▶II) する

3 印刷する枚数を
左右ボタンで選ぶ

4 撮影日を印刷するときは、「日付」を上下ボタンで選び、
「入」を左右ボタンで選ぶ

5 「プリント」を上下ボタンで選び、
印刷 (▶II) する

■複数の静止画をまとめて印刷するには
静止画と印刷枚数をあらかじめ DPOF で設定し (P.64)、手順 1 で「DPOF 印刷」を選ぶ。

For English Users

To change the Menu indications etc. to English

1 Set the POWER switch to " 撮影 " while pressing down the LOCK button.

2 Press MENU button.

3 Press Up or Down button to select " 日時 / 表示 " and press "▶II" button.

4 Press Up or Down button to select "LANG./ 言語 " and press "▶II" button.

5 Press Up or Down button to select "ENGLISH" and press "▶II" button.
The Menu indication changes to ENGLISH.

6 Press MENU button.
The Menu screen closes.

設定する 1 メニューを表示する

画質や音質、撮影時の感度、再生時の効果 (エフェクト)、ファイルを記録するメディアなど、本機のさまざまな設定を変えることができます。また、ファイルをプロテクトしたり、メディア間で静止画をコピーしたりできます。

準備
- 電源スイッチ　　　　：撮影または再生
- モード切替スイッチ：目的にあわせる (または)

お知らせ
- 第二階層で終わる項目や、第四階層がある項目、一部の操作が異なる項目もあります。
- 項目が表示されていても、選ばれているモード (動画／静止画、撮影／再生) によっては設定できないものがあります。この場合、次の階層へ進めません。

■設定せずにメニューを消すには
もう一度、メニューボタンを押す。

■ひとつ上の階層に戻るには
左ボタンを押す。

■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには
「基本設定」の「プリセット」(P.73)

■操作ガイドを表示するには
メニュー表示中にインフォボタンを押す。
(メニューによっては、操作ガイドは表示されません。)

動画のメニュー

準 備
●電源スイッチ　　　　：撮影または再生
●モード切替スイッチ：

■撮影時のメニュー

アイコン	項目 (第一階層)	ページ
	画質	P.76
	ワイド効果	P.76
	ウィンドカット	P.76
AGC	感度アップ	P.76
	手ぶれ補正	P.76
	カメラ設定	P.77
	基本設定	P.73
	メディア設定	P.73
	日時 / 表示	P.74

■再生時のメニュー

アイコン	項目 (第一階層)	ページ
	プレイリスト	P.79
	場面切替	P.79
	エフェクト	P.80
	プロテクト	P.80
	削除	P.80
	基本設定	P.73
	メディア設定	P.73
	日時 / 表示	P.74

静止画のメニュー

準 備
- 電源スイッチ　　　　：撮影または再生
- モード切替スイッチ：[camera icon]

■撮影時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	画質	P.77
	画像サイズ	P.77
	セルフタイマー	P.77
	連写	P.77
ISO	感度	P.78
	カメラ設定	P.78
	基本設定	P.73
	メディア設定	P.73
	日時 / 表示	P.74

■再生時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	DPOF	P.81
	ダイレクトプリント	P.81
	エフェクト	P.81
	プロテクト	P.81
	削除	P.81
	基本設定	P.73
	メディア設定	P.73
	日時 / 表示	P.74

設定する 2
撮影時と再生時の共通設定

撮影時と再生時のどちらでもメニューに表示される項目です。さらに、動画モード (🎥) と静止画モード (📷) で共通です。

項目（第二階層）		項目（第三階層）と役割	ページ
基本設定			
	プリセット	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	–
DEMO	デモモード	切：設定しない。 ●入：カードを入れずに電源スイッチを「撮影」に切り替えると、約３分後に本機の機能をデモで確認できる。DC コード接続時のみ利用可能。	–
	操作音	切：操作音を消す。 ブザー：一部の操作ではブザー音を鳴らす。 ●メロディー：操作するごとにメロディー音を鳴らす。	–
	リモコン	切：リモコン操作を受けつけない。 ●入：リモコンで操作できる。	P.14
G	落下検出	切：カメラを落としても、撮影や再生を続ける。 ●入：カメラを落とすと、メディアの破損を防ぐため、撮影や再生を停止する。	–
メディア設定			
	動画モード	●HDD：ハードディスクに動画を録画する。 SD：カードに動画を録画する。	P.30
	静止画モード	●HDD：ハードディスクに静止画を記録する。 SD：カードに静止画を記録する。	P.30
F	フォーマット	HDD：ハードディスクにある動画と静止画をすべて消去する。 SD：カードにある動画と静止画をすべて消去する。 ・カードをはじめてお使いになるときは、フォーマットしてください。カードにアクセスする速度などが安定します。 ・フォーマットすると、プロテクトしたファイルも消去されます。 ・パソコンでフォーマットしないでください。	P.28

項目（第二階層）		項目（第三階層）と役割	ページ
	クリーンアップ	HDD：ハードディスクに関わる不具合を解消できることがある。 SD　：カードに関わる不具合を解消できることがある。 ・終了するまでに時間がかかることがあります。ACアダプターをお使いください。 ・パソコンのデフラグに相当します。 ・万一、クリーンアップで解消できないメディアの不具合が生じた場合は、フォーマットすることで不具合を解消できることがあります。	–
	コピー / ムーブ	コピー：ハードディスクとカードのあいだで、静止画ファイルをコピーする。 ムーブ：コピー元の静止画ファイルを消去して、コピー先へ静止画ファイルを移動する。（読み取り専用ファイルは消去されない。） **■操作例：ファイルを選んでコピーする** ①「コピー」を選び、決定する ② コピーの方向を選ぶ（「HDD → SD」または「SD → HDD」） ③ ファイル単位に「ファイル」を選ぶ（すべてもある） ④ インデックス画面で、コピーするファイルを選んで決定する ⑤ コピーするファイルをすべて選んだら、メニューボタンで元の画面に戻る ⑥「実行」を選び、決定する	–
	番号リセット	動画　：以後の撮影では、動画が「001」を含むファイル名で、新しいフォルダに記録される。 静止画：以後の撮影では、静止画が「0001」を含むファイル名で、新しいフォルダに記録される。 ・これまでに撮影したファイルと、これから撮影するファイルを区別しやすくなる。	–
	日時 / 表示		
	画面明るさ	画面の明るさを調節する。左右ボタンで調節し、決定(▶II) する。	–
	日時表示	【撮影用】 切　　：表示しない。 ●オート：電源スイッチを「撮影」に切り替えたときに、約 5 秒間表示する。 入　　：常に表示する。 【再生用】 切　　：表示しない。 ●オート：動画や静止画を表示したときと日付が変わったときに、約 5 秒間表示する。 入　　：常に表示する。 ・動画の再生時は、時刻を表示せず、撮影日のみを表示します。	–

項目（第二階層）		項目（第三階層）と役割	ページ
0001	シーンカウンター	●切：表示しない。 入：表示する。（映像のファイル内での位置を確認できる。）	P.15
	LANG./ 言語	●日本語　：メニューとメッセージを日本語で表示する。 ENGLISH：メニューとメッセージを英語で表示する。	P.69
	年月日時計合わせ	年月日と時刻を設定する。	P.24

●印は、お買い上げ時の設定です。

撮影時の設定

動画撮影時の設定

準備 ●電源スイッチ　　　　：撮影
●モード切替スイッチ：

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	画質	● U、F、N、E：ウルトラファイン (U) が最も高画質。ファイン (F)、ノーマル (N) と続き、エコノミー (E) が最も長時間撮影できる。	P.15
	ワイド効果	● OFF 切　　　　：設定しない。 W 16：9 ワイド：画面を上下方向に伸ばして撮影する。 ・テレビで見るときは、テレビを操作してワイド表示に切り替えてください。 ・メニューの「画質」で「エコノミー (E)」を選ぶと、設定が一時的に解除され、画面の W が点滅します。 ・「16：9 ワイド」に設定して撮影した動画をパソコンで再生する場合、ワイド表示に対応したソフトウェアをお使いください。	–
	ウィンドカット	● OFF 切：設定しない。 ON 入：風の音を低減する。	–
AGC	感度アップ	OFF 切：設定しない。 ● ON 入：暗いところで電気的に明るく調節する。	–
	手ぶれ補正	OFF 切：設定しない。 ● ON 入：手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは、「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。	–

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	カメラ設定	ズーム：最大ズーム倍率を設定する。 10 倍 ： 光学ズームのみ。（画質が劣化しない。） ●40 倍 ： デジタルズーム。（倍率を上げると、画質が劣化する。） 200 倍： デジタルズーム。（倍率を上げると、画質が劣化する。） テレマクロ：マクロ撮影できるように設定する。 ●切 ：T 側で約 1m まで接近して撮影できる。 入 ：T 側で約 50cm まで接近して撮影できる。	P.35

●印は、お買い上げ時の設定です。

静止画撮影時の設定

準 備

●電源スイッチ ：撮影
●モード切替スイッチ：

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	画質	● ファイン ：高画質。（撮影枚数が少ない） スタンダード：撮影枚数が多い。	－
	画像サイズ	● 1600 1600 × 1200 ：きめ細かく印刷したいとき。（高解像度用） 1280 1280 × 960 ：印刷したいとき。 1024 1024 × 768 ：パソコンで見たいとき。 640 640 × 480 ：撮影枚数を多くしたいとき。	－
	セルフタイマー	● OFF 切 ： 設定しない。 2 秒 ： 設定して撮影ボタンを押すと、2 秒後に撮影される。 10 秒： 設定して撮影ボタンを押すと、10 秒後に撮影される。 ・ カウントダウン中は、画面に残り時間（秒）が表示されます。	－
	連写	●切 ： 設定しない。 入 ： 撮影ボタンを押し続けているあいだ、静止画を連写（最大 3 枚 / 秒）する。 ・ お使いになるカードによっては、連写できないことがあります。 ・ 連写し続けると、連写速度が低下します。	－

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
ISO	感度	● AUTO オート：周囲の明るさに応じて、感度を上げる。 80 80 ：ISO 80 フィルム相当に設定する。 160 160 ：ISO 160 フィルム相当に設定する。(80 の 2 倍の感度） ・ 感度の数値を大きくするとノイズが増え、静止画の質感が荒くなります。	－
	カメラ設定	テレマクロ：マクロ撮影できるように設定する。 ●切：T 側で約 1m まで接近して撮影できる。 入：T 側で約 50cm まで接近して撮影できる。	－

●印は、お買い上げ時の設定です。

再生時の設定

動画再生時の設定

準 備
●電源スイッチ　　　：再生
●モード切替スイッチ：🎥

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	プレイリスト	一覧：プレイリストを一覧表示し、再生する。 編集：新規にプレイリストを作成する。または、既存のプレイリストを編集する。 名前の変更：プレイリストの名前を変更する。 削除：プレイリストを削除する。	P.52 P.54
	場面切替	● OFF 切：場面切替を使わない。 Wh フェーダー：白：白い画面でフェードイン、フェードアウト。 Bk フェーダー：黒：黒い画面でフェードイン、フェードアウト。 B.W フェーダー：白黒：白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウト。 ワイプ：コーナー：映像が右上から左下にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：ウィンドウ：ウィンドウ映像が中央から外にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：スライド：スライド映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：ドア：映像が中央から左右に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。 ワイプ：スクロール：映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ワイプ：シャッター：映像が中央から上下に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。	–

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	エフェクト	● 切：エフェクトを使わない。 セピア：古い写真のようなセピア色で再生。 B/W 白黒：白黒映画のようにモノクロで再生。 映画効果：速いコマ落としを付けて、映画のように再生。 ストロボ：コマ落としで、連続写真のように再生。	–
	プロテクト	表示ファイル：表示した動画を保護する、または保護を解除する。 ファイル選択：選んだ動画を保護する、または保護を解除する。 ①インデックス画面が表示されるので、プロテクトする画像を選んで決定ボタン (▶II) を押す。誤って押したときは、もう一度押して解除する。 ②プロテクトする画像を選び終わったら、メニューボタンを押してインデックス画面を抜ける。 すべてプロテクト：すべての動画を保護する。 すべて解除：すべての動画の保護を解除する。	–
	削除	表示ファイル：表示した動画を削除する。 ファイル選択：選んだ動画を削除する。 すべて削除：すべての動画を削除する。	P.49

●印は、お買い上げ時の設定です。

静止画再生時の設定

準備
●電源スイッチ　　　　：再生
●モード切替スイッチ：

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	DPOF	画像を選択：印刷する静止画と印刷枚数（最大15枚）を指定する。 すべて1枚：すべての静止画を1枚ずつ印刷するよう指定する。 設定済みを確認：DPOFの設定を確認する。 リセット：すべての静止画の印刷枚数を0枚に戻す。	P.64
	ダイレクトプリント	選択印刷：選んだ静止画（1 ファイル）をプリンターで印刷する。 DPOF印刷：DPOFで指定した静止画（複数ファイル）をプリンターで印刷する。	P.66
	エフェクト	● OFF 切：エフェクトを使わない。 セピア：古い写真のようなセピア色で再生。 B/W 白黒：白黒映画のようにモノクロで再生。	–
	プロテクト	表示ファイル：表示した動画を保護する、または保護を解除する。 ファイル選択：選んだ動画を保護する、または保護を解除する。 ①インデックス画面が表示されるので、プロテクトする画像を選んで決定ボタン(▶II)を押す。誤って押したときは、もう一度押して解除する。 ②プロテクトする画像を選び終わったら、メニューボタンを押してインデックス画面を抜ける。 すべてプロテクト：すべての動画を保護する。 すべて解除：すべての動画の保護を解除する。	–
	削除	表示ファイル：表示した動画を削除する。 ファイル選択：選んだ動画を削除する。 すべて削除：すべての動画を削除する。	P.49

●印は、お買い上げ時の設定です。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、本機をリセットする（下記を参照）。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または
　ビクターサービス窓口へご相談ください。

■本機をリセットするには
①先の尖った針金などでリセット穴（P.11）を押すと、電源が切れ、自動的に電源が入ります（リセット）。
②何もおきないときは、電源スイッチを「切」にあわせます。
続いて、本機からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから、電源スイッチを「撮影」または「再生」にあわせます。
③メニューの「プリセット」を実行します（P.73）。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
カード	メディアが入らない	●カードの向きを確認する。	P.26
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。	P.21
撮影中	撮影できない	●カードスロットのカバーを閉じる。 ●電源スイッチを「撮影」にあわせる。 ●モード切替スイッチを「🎥」にあわせる。	P.26 P.32
撮影中	自動でピントがあわない	●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。 ●画面の左上に「M」アイコンが表示されているときは、「M」アイコンを消す。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、手動でピントをあわせる。	P.33 P.44 P.45 P.47 P.89

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
被写体が暗い	●「フラッシュ」「逆光補正」「ナイトアイ」を使う。 ●マニュアル撮影の明るさ補正を「＋」側に設定する。 ●動画の場合、メニューの「感度アップ」が「切」ならば「入」にする。 ●静止画の場合、メニューの「感度」を「オート」または「160」にする。	P.39 P.44 P.47 P.48 P.76 P.78
被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは「切」にする。 ●マニュアル撮影の明るさ補正を「－」側に設定する。	P.44 P.47
被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、ホワイトバランスの「ワンタッチ」で調節する。	P.47
映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	－
デジタルズームできない	●メニューの「カメラ設定」の「ズーム」を「10 倍」以外に設定する。	P.77
ホワイトバランスを設定できない	●マニュアル撮影のエフェクトで「セピア」や「白黒」を選んでいるときは使えません。	P.48
静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。	－
機能が働かない	●機能を示すアイコンの表示を確認する。 ●アイコンが点滅または消えているときは、エフェクト・ワイド効果・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。	－

撮影中

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	日時表示がでない	●メニューの「日時／表示」の「日時表示」を「入」にする。	P.74
液晶画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.74
	画面が熱くなる	●電源を切ってしばらく置く。	–
	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます）	–
	アイコン表示が点滅または消える	●エフェクト・ワイド効果・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。	–
	画面が見にくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。	–
	画面が表示されない	●カメラを操作する。(AC アダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、アクセスランプが点灯し、液晶画面のバックライトが消えます。)	–
再生中	同じ映像が長く止まって見える 映像がカクカクした動きに見える	●カードを交換する。（カードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、このような状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。） ●クリーンアップやフォーマットを実行する。	P.10 P.26

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
パソコン接続	メディアが表示されない	●USB ケーブルを正しく接続し直す。 ●ほかの USB 端子に接続する。 ●Windows の場合、コントロールパネルの「システム」のプロパティで、USB (Universal Serial Bus) コントローラを使えるように設定する。 ●Macintosh の場合、Finder の移動メニューで「コンピュータ」を選ぶ。 ●それでも表示されないときは、OS のバージョンを確認し、動作確認済みのバージョンにアップデートする。	P.58
パソコン接続	拡張子が表示されない (Windows)	●①フォルダウィンドウの「ツール」メニューの「フォルダオプション」を選ぶ。 ②「表示」タブを選び、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックをはずし、「OK」をクリックする。	–
その他	動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入／切などが遅い	●メディア内のファイルをパソコンへコピーし、メディアから削除する。(メディアに静止画などが多数 (約 1,000 ファイル以上) あると、処理に時間がかかります。)	P.58 P.80
その他	充電中、ランプが点滅しない	●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	P.99
その他	通信時エラー表示がでる	●USB ケーブルを正しく接続する。 ●USB ハブを使わずに、パソコンに直接接続する。	P.58

■次の場合は故障ではありません
- 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。
- 画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
  (画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることが あります。)

こんな表示が出たら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、本機をリセットする（下記を参照）。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または
ビクターサービス窓口へご相談ください。

■本機をリセットするには

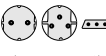
①先の尖った針金などでリセット穴（P.11）を押すと、電源が切れ、自動的に電源が入ります（リセット）。

②何もおきないときは、電源スイッチを「切」にあわせます。
続いて、本機からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから、電源スイッチを「撮影」または「再生」にあわせます。

③メニューの「プリセット」を実行します（P.73）。

表示	ここを確かめてください	ページ
日時を設定してください	●日時を設定し直す。	P.24
バッテリー残量がありません	●バッテリーを交換、または充電する。 ●ACアダプターを接続する。	P.21
レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.19
HDD（カード）エラー	●カードを入れ直す。解決しないときは、動作確認済みのカードに交換する。 ●クリーンアップやフォーマットを実行する。	P.10 P.26 P.27
フォーマットエラー	●カードを入れ直す。解決しないときは、動作確認済みのカードに交換する。	P.26 P.27

表示	ここを確かめてください	ページ
ファイルシステムに問題がある可能性があります	●必要なファイルをコピーしてから、メディアをフォーマットする。	P.28 P.58
動画管理ファイルが壊れています	●「修復しますか？」と表示されているときは「はい」を選び、ファイルを修復する。（修復したにも関わらず、必要なファイルが動画インデックス画面に表示されないときは、EXTMOV フォルダにファイルが移動されています。）	P.61
動画管理ファイルが存在しない動画ファイルを MPG フォルダに移動しました	●EXTMOV フォルダにあるファイルの再生方法で再生する。（管理ファイル（拡張子「.MOI」）が誤って削除された場合や、動画の記録が正常に終了しなかった場合、動画ファイルは EXTMOV フォルダに移動されます。）	P.61
プレイリストの管理情報が壊れています	●プレイリストを作り直す。	P.52
プレイリストに登録されているシーンが…	●プレイリストを編集する、または作り直す。	P.52
HDD（カード）へ記録できませんでした	●振動や衝撃を与えない。 ●動作確認済みのカードを使う。 ●クリーンアップして、メディアの性能を回復する。	P.27 P.74
HDD（カード）に正常に記録できない可能性があります	●クリーンアップして、メディアの性能を回復する。 ●撮影しなおしてください。	P.74
HDD（カード）を正常に再生できませんでした	●再生しなおす。	–

表示	ここを確かめてください	ページ
HDD(カード)に空き容量がありません	●ファイルを削除するか、別のメディアにムーブする。または交換する。	P.26 P.49 P.74
動画ファイル(静止画ファイル)がありません	●動画(静止画)を撮影する。	–
未対応のファイルです	●本機で再生できない形式なので、ほかの機器で再生する。	–
プロテクトがかかっています	●メニューの「プロテクト」で解除する。	P.80
ライトプロテクトがかかっています	●SD カードのライトプロテクトスイッチを解除する。	–
カメラの温度が上がりました	●電源を切って待ち、カメラを冷ましてから電源を入れる。	P.34 P.36 P.96
カメラの温度が低すぎます	●カメラが温まるまで、電源を入れたまま待つ。	P.96

日常のお手入れ／海外で使うときは

お手入れのまえに、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 **ご注意** ●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。 ●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問国にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米·南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」(P.41)をご覧ください。

- ■アメリカ合衆国
- ■韓国
- ■コスタリカ
- ■トリニダード・トバコ
- ■バハマ
- ■フィリピン
- ■ペルー
- ■ミクロネシア
- ■エクアドル
- ■キューバ
- ■コロンビア
- ■ドミニカ
- ■バミューダ
- ■プエルトリコ
- ■ホンジュラス
- ■ミャンマー
- ■エルサルバドル
- ■グァテマラ
- ■スリナム
- ■ニカラグア
- ■バルバドス
- ■米領サモア
- ■ボリビア
- ■チリ
- ■カナダ
- ■グアム
- ■台湾
- ■ハイチ
- ■パナマ
- ■ベネズエラ
- ■メキシコ

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

 危険 人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

 警告 人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

 注意 人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

注意・警告が必要な事項。（図中に具体的な注意内容）

 禁止されている事項。（図中に具体的な禁止内容）

 実行して頂きたい事項。（図中に具体的な実行内容）

万が一こんなときは

バッテリーをはずす／電源プラグを抜く

- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
  （そのまま使用すると火災や感電の原因）

販売店に修理を依頼してください

⚠危険

バッテリー

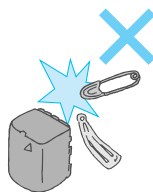
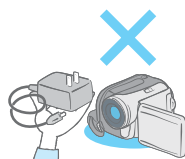
絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない

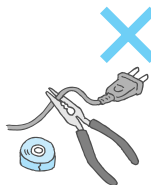
- 液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

端子部に金属物（ネックレス、ヘアピンなど）を接触させない

- ショートによる発熱で火災や、やけどの原因となります。
- 持ち運びのときは、必ずバッテリーにキャップを付けてください。

高温（60 ℃以上）になる場所に置かない

- 発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

ACアダプター	**本機以外に使わない** ●火災や故障、感電の原因となります。 ●本機用のものか確認してからご使用ください。 **分解や改造をしない** ●火災や感電の原因。 ●お客様による点検、整備、修理は危険です。販売店にご依頼ください。

⚠警告

バッテリー	**液もれしていたら使わない** ●ショートによる発熱で、やけどの原因となります。 ●本体取り付け部をよくふいて、バッテリーを交換してください。 ●液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。 ●万一液が目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。 **ぬれたバッテリーは使わない** ●故障、感電、発熱、発火の原因となります。
ACアダプター	**電源コードを傷つけない** ●火災や感電の原因となります。 ●次のようなことは電源コードが傷む原因になります。 コードを持って抜く、加工する、 無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、加熱器具に近づける。 **雷が鳴り出したら、電源プラグにふれない** ●感電の原因となります。 **電源プラグは根元までしっかり接続する** ●火災や感電の原因となります。 ●接触不良で発熱することがあります。

AC アダプター

電源コードが傷んだときは電源プラグを抜く

●販売店に修理を依頼してください。
●芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源プラグにホコリや金属を付着させない

●火災や感電の原因となります。
●付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。

本体

なかに金属や燃えやすいものや、水などの液体を入れない

●火災や感電の原因となります。

●特にカードの出し入れ口に注意願います。
●降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。
●ふろ場では使用しないでください。

内部の部品にさわらない

●感電や故障の原因となります。

機器を接続するときは、電源を切る

●感電や故障の原因となります。

分解や改造をしない

●火災や感電の原因となります。
●内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。

運転中に使用しない

●交通事故の原因となります。
●自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。

レンズを直射日光などの強い光源に向けない

●火災や故障の原因となります。
●集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

バッテリー

充電中に長時間ふれない

●低温やけどの原因となります。
●間違ってふれないような場所で充電してください。

電池を入れるときは、極性表示（＋と－）をあわせる

●電池の破裂、液漏れにより火災、けが、周囲の汚損の原因となります。

AC アダプター	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となります。 **充電中に長時間ふれない** ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。 **コードはつまずかないように配置する** ●製品の落下や転倒によるけがの原因となります。
本体	**次のような場所には置かない、使わない** ●浜辺など砂ボコリの多いところ。 ●湿気やホコリの多いところ。 ●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。 ●熱器具の近くや直射日光の強いところなど高温になるところ。 ●火災や感電、故障の原因となります。
アクセサリー	**指定のアクセサリーを使う** ●火災や感電の原因となります。 ●本機用のものか、確かめてお使いください。
付属品	**付属の CD-ROM をオーディオ用プレーヤーで再生しない** ●回路やスピーカーを破損するおそれがあります。 ●オーディオ用の CD ではありません。再生しようとすると過大な信号が流れるおそれがあります。
共通	**移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす** ●コードの損傷による火災ややけどの原因となります。 **長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く** ●感電の原因となります。 ●電源が「切」でも機器には電気が流れています。 **5 年に一度は販売店に内部点検を依頼する** ●内部のホコリに電気が流れ、火災や感電の原因となります。 ●湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。 **飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う** ●本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、ハードディスクムービーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。最寄りのビクターサービスは、別紙の「ビクターサービス窓口案内」にてご確認ください。

愛情点検　●長年お使いのカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	
	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

修理を依頼される場合 (持込修理)

「故障かなと思ったら…」(P.82) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・付属品・カードの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品　　名	ハードディスクムービー
型　　名	GZ-MG70
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	
お 名 前	
電話番号	(　　)　　－

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

別紙の『同意書』、または取扱説明書の P.103 をコピーしたものに、必要事項を記入して本機に添付してください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社 (以下、当社) にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合せへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕様

一般

電源	AC アダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　　DC 7.2V
消費電力	5.2W
外形寸法	71mm × 70mm × 109mm (幅×高さ×奥行き ; 最大突起部を含む、グリップベルトを含まず)
質量	本体　　約 390g (グリップベルトを含む) 撮影時　約 450g (バッテリー BN-VF707、レンズキャップ、グリップベルトを含む)
動作環境	許容動作温度　0 ℃～ 40 ℃ 許容相対湿度　35%～ 80% 許容保存温度　－ 20 ℃～ 50 ℃

カメラ部・液晶部

映像素子	1/3.6 型 212 万画素 撮像エリア : 123 万画素 (動画)、200 万画素 (静止画)
レンズ	F1.8 ～ F2.2、f =4.5mm ～ 45mm (35mm カメラ換算　動画　48.7mm ～ 487mm 静止画　38.9mm ～ 389mm)
フィルター径	30.5mm(ネジピッチ 0.5mm)
最低照度	22 ルクス (ナイトアイ使用時 : 1 ルクス)
液晶画面	2.5 型、 11.2 万画素、アモルファスカラー液晶
フラッシュ	推奨撮影距離　2m 以内

■撮影・再生時のズーム仕様

動画撮影時	光学ズーム 10 倍まで、デジタルズーム 200 倍まで
静止画撮影時	光学ズーム 10 倍まで
再生時	拡大再生 5 倍まで

内蔵ハードディスク部

容量	30GB

動画

録画／再生方式	SD-VIDEO 規格準拠 MPEG-2(映像)、Dolby Digital(音声)	
信号方式	NTSC 日米標準信号方式	
画質・音質	ウルトラファイン	720 ピクセル× 480 ピクセル、8.5Mbps CBR (映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ファイン	720 ピクセル× 480 ピクセル、5.5Mbps CBR (映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ノーマル	720 ピクセル× 480 ピクセル、4.2Mbps VBR (映像)、48kHz、256kbps(音声)
	エコノミー	352 ピクセル× 240 ピクセル、1.5Mbps VBR (映像)、48kHz、128kbps(音声)
記録メディア	ハードディスク (内蔵)、SD メモリーカード (市販) (詳しくは、「動作確認済みのカード」(P.27) をお読みください。)	

■動画の撮影可能時間の目安

	ハードディスク	SD メモリーカード			
画質モード	**内蔵**	**128MB**	**256MB**	**512MB**	**1 GB**
ウルトラファイン (720 x 480)	430 分	1 分	3 分	7 分	14 分
ファイン (720 x 480)	640 分	2 分	5 分	10 分	21 分
ノーマル (720 x 480)	850 分	3 分	6 分	14 分	27 分
エコノミー (352x240)	2250 分	8 分	18 分	37 分	73 分

※撮影可能時間は目安です。12 時間まで連続して撮影 (記録) できます。

静止画

記録方式	JPEG 準拠
画像サイズ	(次の表を参照のこと)
画質	ファイン／スタンダード
記録メディア	ハードディスク (内蔵)、SD メモリーカード (市販) (詳しくは、「動作確認済みのカード」(P.27) をお読みください。)

■静止画の撮影可能枚数の目安

		ハードディスク	SD メモリーカード			
画質サイズ	画質モード	内蔵	128MB	256MB	512MB	1 GB
1600 x 1200	ファイン	9999 枚	135 枚	280 枚	570 枚	1095 枚
	スタンダード	9999 枚	230 枚	470 枚	950 枚	1830 枚
1280 x 960	ファイン	9999 枚	220 枚	440 枚	895 枚	1725 枚
	スタンダード	9999 枚	350 枚	705 枚	1425 枚	2745 枚
1024 x 768	ファイン	9999 枚	320 枚	645 枚	1305 枚	2515 枚
	スタンダード	9999 枚	550 枚	1110 枚	2240 枚	4315 枚
640 x 480	ファイン	9999 枚	770 枚	1555 枚	3140 枚	6040 枚
	スタンダード	9999 枚	1105 枚	2225 枚	4490 枚	8635 枚

※撮影可能枚数は目安です。

端子部

S 端子	S 映像出力端子 アナログ出力 (Y:1.0 V（p-p)、75 Ω　C:0.29 V（p-p)、75 Ω)
AV 端子	映像出力端子 アナログ出力（1.0 V　(p-p)、75 Ω) 音声出力端子 ステレオ／アナログ出力（300 mV　(rms)、1 kΩ)
USB 端子	ミニ USB-B タイプ、USB 2.0

時計用電池

種類	二次電池 (内蔵充電式)

リモコン RM-V730

電池	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約 1 年 (使用頻度により変わります。)
動作距離	約 5 m(正面軸上)
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
外形寸法	45mm × 11mm × 105mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約 40g(ボタン電池を含む)

AC アダプター AP-V14

電源	AC 100V－240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA(100V)、31VA(240V)
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は 10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm (幅×高さ×奥行き) (コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100g

バッテリー BN-VF707

電圧	DC 7.2V
容量	700mAh
外形寸法	38mm × 23mm × 41mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 55g

■充電時間の目安

バッテリー	時間
BN-VF707(付属)	1 時間 30 分
BN-VF714(別売)	2 時間 40 分
BN-VF733(別売)	5 時間 40 分

※充電時間は目安です。室温 10 ℃～ 35 ℃の範囲を想定しています。

■撮影時間の目安

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間 (最大撮影時間)
BN-VF707(付属)	25 分	50 分
BN-VF714(別売)	55 分	1 時間 50 分
BN-VF733(別売)	2 時間 10 分	4 時間 20 分
VU-V840KIT(別売)	2 時間 30 分	5 時間 5 分
VU-V856KIT(別売)	3 時間 40 分	7 時間 20 分

※撮影時間は目安です。VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード (VC-VBN800) でバッテリーポーチとカメラを接続して使います。バッテリーをカメラに直接取り付けることはできません。

お知らせ
- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約3倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

他社製品の登録商標と商標について

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- MASCOT CAPSULE
  MascotCapsuleは、株式会社エイチアイの日本国における登録商標です。

- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

さくいん

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

お預かりした商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いします。しかし、修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってＨＤＤ（ハードディスク）の初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。そのため、事前にバックアップしておかれることをお勧めします。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに ✓ マークをお願いします。	□同意する	□同意しない
日付： 年 月 日		
ご署名：		

修理や点検を依頼されるときは、この同意書のコピーにご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

ユーザー登録およびアンケートのお願い

このたびは、ビクター製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい製品の開発に反映させるために、ユーザー登録およびアンケートにご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

製品についてのご相談や修理のご依頼は

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.95 をご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120-2828-17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(045) 450-8950 FAX：(045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12
技術的なご相談	
DVご相談窓口 電話：(045)450-2770	

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M5E6 0805FOH-HT-VP